

スキルUP
受講者満足度

99%

技術 × 成長

2026年度

能力開発セミナー
コースガイド

2026.4 → 2027.3

らしく、はたらく、
ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 熊本支部



ポリテクセンター熊本



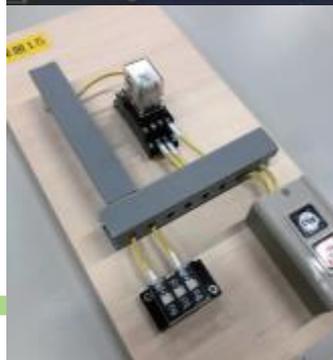
ポリテクセンター熊本は、

厚生労働省が所管する「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」が職業能力開発促進法により運営する**公共職業能力開発施設**です。

能力開発セミナーとは、

高度な職業能力を有する人材育成を目的とした公共職業訓練で、在職中の方を対象としたスキルアップのための短期技術研修です。カリキュラムは、生産現場における現場力強化や技能継承、生産性向上など、**ものづくり分野の様々な課題に対応した内容となっています。**

当センターでは、年間延べ**1,200人以上**の方々にご利用頂き、受講者のアンケート調査では、**99%以上**の方々から「役に立っている」との評価を頂いております。また、セミナーに社員を派遣している事業主からも「生産性の向上や現場力の向上につながった」との評価を頂いております。



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

受講者の声

これまでは見て学んできたことが多かったのですが、受講して理由を学べたことで、部下の育成に活用できます。

セミナーでしか得られない知識や技能を学ぶことができ、非常に勉強になりました。

期待値を超える内容で、再度受講したくなるセミナーです。

講師の先生の技能・技術のレベルが高く、安心して受講できました。



事業主の声

セミナーを受講したことにより、製造工程毎に品質の作りこみが可能になりました。

周囲の環境を皆が使いやすいように改善できるようになりました。

日々の業務時間内には、知識や技術を教える時間がなかったため、大変役に立ちました。

改善により無駄な作業の削減につながりました。



も く じ

セミナーについて・アンケート調査結果から（ご意見） 1

も く じ 2

受講のご案内（お申し込みから受講まで） 3

WEBによる能力開発セミナー情報のご案内 /
各種助成金のご案内 4

年間コース一覧 5～8

月別コース一覧 9～12

機械系体系図 13～15

電気・電子系体系図 16～18

居住系体系図 19～20

能力開発セミナーコース内容

機械系

生産管理系

電気・電子系

居住系

高度ポリテクセンター主催コースのご案内 56

よくあるご質問 Q & A 57～58

能力開発セミナー受講申込書 59～60

受講者変更・取消（キャンセル）届 61

施設設備ご利用のご案内 62

施設設備使用申請書 63～64

オーダーメイドセミナーのご案内 65

高度ポリテクセンターのご案内 66

人材育成サポート 67～68

人材情報を活用しませんか？ 69

施設配置図 70

能力開発セミナーコース内容

機械系

機械設計／機械製図 21～23

解析 24

汎用機械加工 25～27

仕上げ加工 28

NC機械加工 29

精密測定 30

機械保全 31

溶接加工 32～33

生産管理系

指導技法・工場管理／技術管理

工場管理／生産管理・品質管理

設備保全 34～36

電気・電子系

電子回路設計技術 37～38

デバイス・基板製造 38

シーケンス（PLC）制御設計 39～41

組込みシステム開発・設計 42～44

マイコン制御設計 42～43

生産システム保全 45

電気設備保全／電気機器設備保全 46

生産自動化設計／画像処理／
信号処理設計／生産計画／生産管理 47

居住系

建築設計／建築製図 48～50

建築設備設計・計画 51～52

建築構造設計 53

給排水衛生設備工事 54

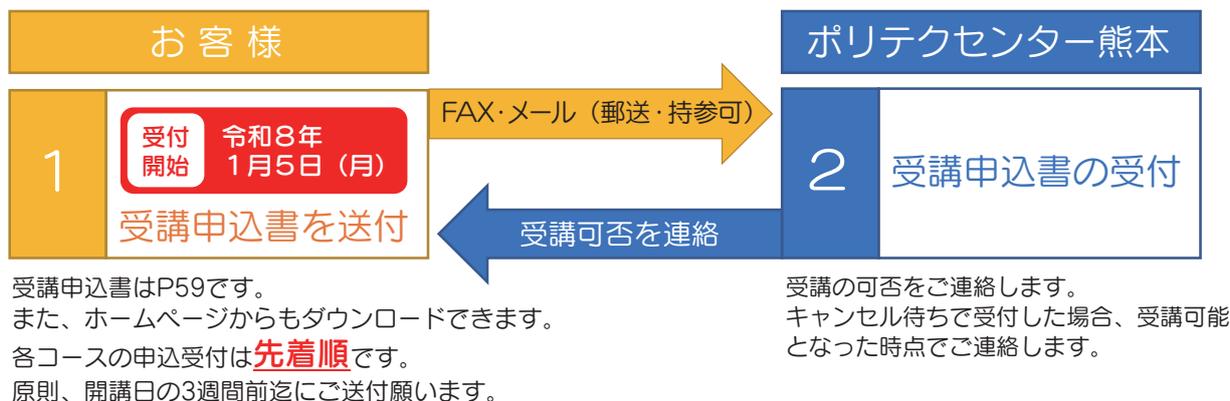
防災設備工事 55

空調設備工事 55

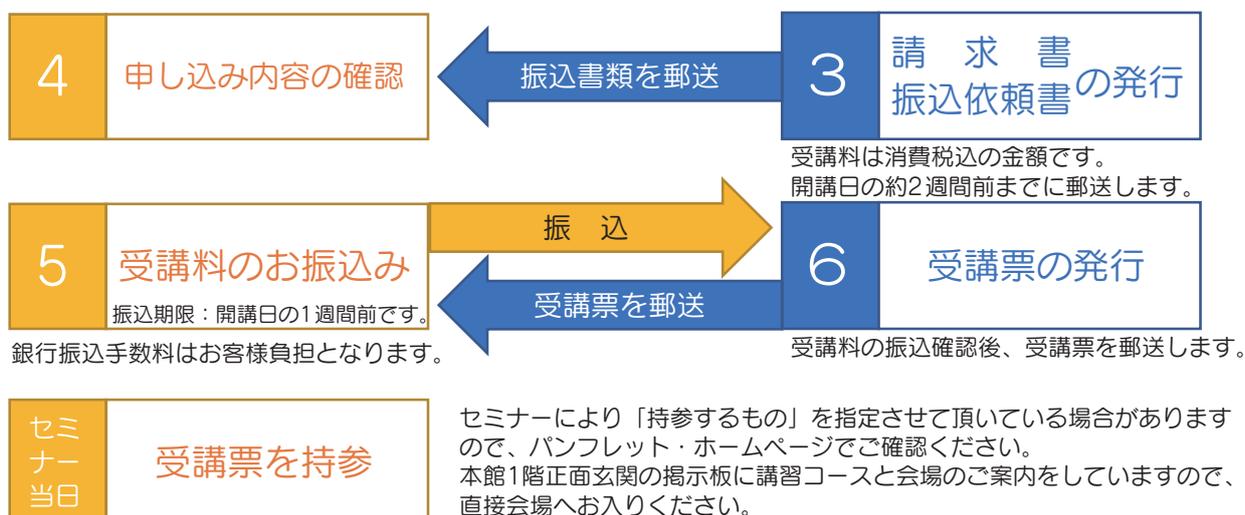


受講のご案内

お申し込みから受講まで



Webによる受付を現在準備しております!(令和8年夏ごろ稼働予定)
詳細が決まり次第当センターHPにてお知らせいたします。



注1 受講申し込みをしているコースを取り消し(キャンセル)する場合は、当該コース開講日の1週間前までに(土日祝日にあたる場合はその前の平日)ご連絡頂き、「受講者変更・取消(キャンセル)届」を送付ください。この日を過ぎたお取り消しや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担頂くこととなります。(但し、当センターの都合によりやむを得ず中止した場合は、返金させていただきます。)
※「受講者変更・取消(キャンセル)届」は、当センターのホームページよりダウンロードできます。

注2 お申し込み者数が一定数に満たない場合中止となることがあります。
その他の都合により、やむを得ず日程の変更または中止することがありますので、予めご了承ください。

注3 同一企業における受講者の変更は可能です。出来るだけ早くご連絡ください。
(お支払いされた受講料を他のコースへ振り替える(流用)することはできません。)

注4 受講中の写真・動画の撮影、録音等にご遠慮ください。

お申し込み先・お問い合わせ先

ポリテクセンター熊本 訓練課 受講者第二係
〒861-1102 熊本県合志市須屋2505-3
【TEL】 096-242-6613

FAX 096-242-9935

メール kumamoto-poly03@jeed.go.jp

Webによる能力開発セミナー情報のご案内

ポリテクセンター熊本ホームページでは、能力開発セミナーの最新情報と受付状況をご覧いただけます。

<https://www3.jeed.go.jp/kumamoto/poly/>

今すぐアクセス

電子回路設計

コース番号	コース名	開催日程	実施場所	状況	備考
10061	電子回路設計の基礎と応用実習	令和4年11月23日(水)18時	本館3階A300研修室	終了	
10061	電子回路設計の基礎と応用実習	令和4年11月23日(水)18時	本館3階A300研修室	終了	
10151	電子回路設計の基礎と応用実習	令和4年11月23日(水)18時	本館3階A300研修室	終了	

制御システム設計

コース番号	コース名	開催日程	実施場所	状況	備考
10051	組立ロボットを用いた制御システム設計(基礎編)	令和4年11月23日(水)	本館3階A研修室	受付中	
10052	組立ロボットを用いた制御システム設計(応用編)	令和4年11月23日(水)	本館3階A研修室	受付中	

ポリテクセンター熊本



令和4年度12月開催コース

コース番号	コース名	開催日程	実施場所	状況	備考
10051	組立ロボットを用いた制御システム設計(基礎編)	令和4年12月(土)18時	本館3階A300研修室	中止	※本コースを受講される方は事前に「オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術」を受講されることをお祈りいたします。
1H122	製造現場におけるコミュニケーション能力と実践的応用	令和4年12月(土)8時	セミナー研修室	終了	
1H102	機械設計(計測と次元)の基礎(実践編)「JW-S.A.D.I.	令和4年12月(土)18時	第2研修棟2階C101研修室	終了	
1H103	機械設計(計測と次元)の基礎(実践編)「JW-S.A.D.I.	令和4年12月(土)18時	第2研修棟2階C101研修室	中止	
1H104	機械設計(計測と次元)の基礎(実践編)「JW-S.A.D.I.	令和4年12月(土)18時	第2研修棟2階C101研修室	受付終了	
1H105	機械設計(計測と次元)の基礎(実践編)「JW-S.A.D.I.	令和4年12月(土)18時	第2研修棟2階C101研修室	受付中	

生産現場で活用するリーダーシップ手法

受講料: 令和4年11月(水)18時

実施時間: 9:00~16:00

受講料: 7,000円(税込)

定員: 12名

対象者: 生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導力・信頼性を高めたい者又はその候補者

講師: 佐藤 浩一

研修内容: 指導者の役割の向上をめざして、指導力、信頼性(信頼)、安全地向上に向けた生産現場における事例を通して、部下の指導方法や育成方法など製造業に適用したリーダーシップを習得します。

本コース受講及び習得事項

- ① 研修コースの概要説明
- ② 専門的能力の向上
- ③ 安全上の留意事項

④ 生産現場とリーダーシップ

- ・リーダーシップがもたらす生産活動への影響

⑤ 指導者としての役割

- ・生産現場における指導者の役割と指導のあり方
- ・強化しつづける製造現場への対応と生産性の向上
- ・指導者としての必要行動、指導者としての役割

⑥ リーダーシップの養成

- ・自分のスキル(イタゴニカ、ヒューマン、コンピュータスキル)
- ・自分のスキルを他の人に伝えるためのスキル

受付状況を確認できます！

能力開発セミナー情報の他にも、当センターの人材情報(訓練生・修了生)も定期的に更新しています。
 人材不足にお悩みの事業主のご利用をお待ちしています。(詳細はP69)

各種助成金のご案内

能力開発セミナーに従業員を派遣する事業主の方で、受給要件を満たす場合は、次の各種助成金等をご活用いただけることがあります。

「人材開発支援助成金」・「雇用調整助成金」

人材開発支援助成金については、提出書類が一部省略され、要件が見直されるなど、利用しやすくなりました。また、「人への投資促進コース」や「事業展開等リスクリソグ支援コース」など事業主を支援するコースが新設されています。

受給要件及び申請手続き方法等、詳細は熊本労働局へご確認ください。

<熊本労働局HP(ホーム)各種法令・制度・手続き>各種助成金制度>
https://jsite.mhlw.go.jp/kumamoto-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/kakushu_joseikin.html

令和8年度（2026年度）

機械系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料(税込)	掲載ページ	4月
機械設計/ 機械製図	1M051/1M052	実践機械製図	10	12,500	21	4/8,9,10
	1M061	実践機械製図(図形理解編)	10	12,500	21	
	1M071	実践機械製図(寸法・公差編)	10	12,500	22	
	1M081	2次元CADによる機械製図技術(実践編)	10	13,000	22	
	1M121	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	10	12,000	23	
	1M091	3次元CADを活用したアセンブリ技術	10	8,500	23	
解析	1M101	設計者CAEを活用した構造解析	10	12,000	24	
汎用機械加工	1M131	旋盤加工技術	9	11,500	25	4/17,20
	1M141	旋盤加工技術(実践部品編)	9	11,500	25	4/21,22
	1M151	旋盤加工応用技術	9	21,000	26	
	1M161	フライス盤加工技術	9	11,500	27	4/13,14
	1M171	フライス盤加工技術(実践部品編)	9	11,500	27	4/15,16
仕上げ加工	1M201	機械組立仕上げのテクニック(仕上げ作業編)	10	17,000	28	
	1M211	機械組立仕上げのテクニック(仕上げ作業習熟編)	10	17,000	28	
NC機械加工	1M181	NC旋盤プログラミング技術	10	14,500	29	
	1M191	マシニングセンタプログラミング技術	10	14,500	29	
精密測定	1M221/1M223	精密測定技術(長さ測定編)	10	8,500	30	4/6,7
	1M311	三次元測定技術 New!	10	14,000	30	
機械保全	1M251	生産現場の機械保全技術(各種要素編)※	10	9,000	31	
	1M261	生産現場の機械保全技術(実践編)※		9,000		
溶接加工	1M011	被覆アーク溶接技能クリニック	10	15,500	32	
	1M021/1M022	半自動アーク溶接技能クリニック	10	16,000	32	
	1M031/1M032	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	10	13,500	33	
	1M041	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック	10	14,000	33	

※1M251・1M261は2コース連続受講必須です

生産管理系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料(税込)	掲載ページ	4月
指導技法	1M281/1M282/1M283	生産現場で活用するリーダーシップ手法	20	5,000	34	
工場管理/技術管理	1M271/1M272/1M273	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	20	5,000	34	
工場管理/生産管理	1M301	製造現場改善のIE活用技術(生産マネジメントと実践的改善)	12	7,000	35	
	1M291	製造業における実践的生産管理	12	13,500	35	
品質管理	1M241	生産現場に活かす品質管理技法(QC7つ道具編)	15	7,000	36	4/2,3
設備保全	1M231	MP(保全予防)設計体系構築技術-ライフコストミニマム実現-	10	9,500	36	

4月	5月	6月																																																																																																																																					
<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>31</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>30</td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	31	25	26	27	28	29						30		<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
			1	2	3	4																																																																																																																																	
5	6	7	8	9	10	11																																																																																																																																	
12	13	14	15	16	17	18																																																																																																																																	
19	20	21	22	23	24	25																																																																																																																																	
26	27	28	29	30																																																																																																																																			
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
					1	2																																																																																																																																	
3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																	
10	11	12	13	14	15	16																																																																																																																																	
17	18	19	20	21	22	23																																																																																																																																	
24	31	25	26	27	28	29																																																																																																																																	
					30																																																																																																																																		
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																	
7	8	9	10	11	12	13																																																																																																																																	
14	15	16	17	18	19	20																																																																																																																																	
21	22	23	24	25	26	27																																																																																																																																	
28	29	30																																																																																																																																					
7月	8月	9月																																																																																																																																					
<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>30</td><td>24</td><td>31</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>28</td><td>29</td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	30	24	31	25	26	27					28	29		<table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
			1	2	3	4																																																																																																																																	
5	6	7	8	9	10	11																																																																																																																																	
12	13	14	15	16	17	18																																																																																																																																	
19	20	21	22	23	24	25																																																																																																																																	
26	27	28	29	30	31																																																																																																																																		
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
						1																																																																																																																																	
2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																																	
9	10	11	12	13	14	15																																																																																																																																	
16	17	18	19	20	21	22																																																																																																																																	
23	30	24	31	25	26	27																																																																																																																																	
				28	29																																																																																																																																		
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																	
		1	2	3	4	5																																																																																																																																	
6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																	
13	14	15	16	17	18	19																																																																																																																																	
20	21	22	23	24	25	26																																																																																																																																	
27	28	29	30																																																																																																																																				

コース一覧

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				9/2,3,4						
		7/15,16,17								
			8/19,20,21							
		7/1,2,3								
		7/8,9,10								
		7/22,23								
								1/27,28,29		
										3/2,3,4,5
5/16,23,30,6/6										
	6/20,27,7/4,11									
								1/20,21,22		
				9/29,30,10/1						
					10/7,8					
日程は後日HPでお知らせします。										
					10/24,31					
						11/7,14				
5/16,17										
5/30,31			8/22,23							
	6/13,14						12/5,6			
									2/6,7	

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			8/5,6		10/7,8				2/17,18	
	6/30,7/1			9/1,2			12/1,2			
					10/14,15					
									2/16,17,18	
				9/14,15						

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月 2027

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2月 2027

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月 2027

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

電気・電子系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ	4月
電子回路 設計技術	1D061	トランジスタ回路の設計・評価技術 New!	10	9,000	37	
	1D131	オペアンプ回路の設計・評価技術	10	9,000	37	
	1D071	デジタル回路設計技術	10	9,000	38	
デバイス・基板製造	1D201/1D202	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	10	13,000	38	4/23,24
シーケンス (PLC) 制御設計	1D111/1D112	有接点シーケンス制御の実践技術 ※	10	9,000	39	
	1D121/1D122	シーケンス制御による電動機制御技術 ※		9,000		
	1D081/1D082	PLCプログラミング技術〈三菱FXシリーズ™〉	10	9,000	40	
	1D091/1D092	PLCによる自動化制御技術〈三菱Qシリーズ™〉	10	12,500	40	
	1D161	PLC制御の回路技術〈三菱Qシリーズ™〉	10	12,500	41	
	1D101/1D102	PLCによるタッチパネル活用技術	10	12,500	41	
マイコン 制御設計	1D021/1D022	マイコン制御システム開発技術〈Arduino™編〉	10	12,500	42	
	1D031/1D032	マイコン制御システム開発技術〈Raspberry Pi™編〉	10	12,500	43	
組み込みシステム 開発・設計	1D011/1D012	組み込みシステムにおけるプログラム開発技術〈C言語 配列・関数編〉	10	9,000	42	4/20,21
	1D041	IoT機器を活用した組み込みシステム開発技術 New!	10	12,500	43	
	1D051	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発 New!	10	9,000	44	
生産システム保全	1D141	空気圧機器の保全	10	12,500	45	
	1D151	電気系保全実践技術	10	12,500	45	
電気設備保全/ 電気機器設備保全	1D231	高圧電気設備の保守点検技術	10	10,000	46	
	1D221/1D222	現場のための電気保全技術	10	10,500	46	
生産自動化設計/ 画像処理/ 信号処理設計/ 生産計画/生産管理	1D171	ロボットシステム設計技術〈プログラミング・カメラ編〉※	10	11,000	47	
	1D181	ディープラーニングによる物体検出技術 ※		11,000		
	1D191	実習で学ぶ画像処理・照明技術※ New!		11,000		
	1D211	問題解決手法を活用した製造現場の業務分析と現場改善〈ロボット・AI活用編〉※		11,000		

※1D111・1D121と1D112・1D122はそれぞれ2コース連続受講必須です

※1D171・1D181・1D191・1D211は4コース連続受講必須です

居住系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ	4月
建築設計/ 建築製図	1H011/1H012	実践建築設計2次元CAD技術〈Jw_cad™編〉	10	11,500	48	
	1H121/1H122	実践建築設計2次元CAD技術〈電気・空調・給排水設備編〉	15	11,500	48	
	1H051	実践建築設計3次元CAD技術〈プレゼンテーション編〉	15	9,500	49	
	1H061	在来木造住宅設計実践技術〈構造・省エネ編〉	15	9,500	49	
建築設計/建築製図 (パース含む)	1H021	BIMを用いた建築設計技術〈GLOOBE™編〉 New!	15	9,000	50	
	1H071	BIMを用いた建築設計技術〈Archicad™編〉	15	8,500	50	
建築設備設計 ・計画	1H131	給排水衛生設備設計実践技術	10	8,500	51	
	1H141	換気・排煙設備設計実践技術	10	8,500	51	
	1H151	室内温熱環境設計技術〈空調和設備編〉	10	8,500	52	
建築構造設計	1H031	鉄骨構造物における構造計算技術	10	12,500	53	
	1H041	RC構造物における構造計算技術	10	12,500	53	
給排水衛生 設備工事	1H171	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術〈建築配管作業編〉	10	13,000	54	
	1H181	給水装置工事における衛生的環境に配慮した工事施工法	10	9,000	54	
防災設備工事	1H161	自動火災報知設備工事の施工・保守技術	10	10,000	55	
空調設備工事	1H191	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術〈ルームエアコン編〉 New!	10	8,500	55	

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	31	25	26	27	28	29
						30

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	31	25	26	27
						28
						29

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5/18,19										
	6/2,3									
	6/15,16									
						11/5,6				
5/26,27				9/15,16						
5/28,29				9/17,18						
		7/1,2					12/2,3			
		7/28,29,30						1/12,13,14		
			8/25,26,27					1/26,27,28		
5/12,13,14								1/6,7,8		
	6/8,9,10						12/16,17,18			
						11/24,25				
					10/7,8,9					
					10/15,16					
						11/24,25,26				
							12/8,9,10			
										3/3,4
		7/1,2							2/6,7	
					10/27,28					
					10/29,30					
						11/10,11				
						11/12,13				

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5/12,13,14,15							12/5,6			
			8/26,27,28						2/20,21,23	
					10/15,16					
							12/10,11			
	6/18,19									
		7/18,19								
5/11,18										
	6/1,8									
		7/6,13								
				9/8,9						
					10/20,21					
						11/14,21,28				
		7/11,18								
				9/5,6						
							12/5,6			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月 2027

日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	31	25	26	27	28	29	30

2月 2027

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28							

3月 2027

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

令和8年度（2026年度）

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
4月	1M241	生産管理	生産現場に活かす品質管理技法<QC7つ道具編>	36	4/2(木),3(金)
	1M221	機械	精密測定技術<長さ測定編>	30	4/6(月),7(火)
	1M051	機械	実践機械製図	21	4/8(水),9(木),10(金)
	1M161	機械	フライス盤加工技術	27	4/13(月),14(火)
	1M171	機械	フライス盤加工技術<実践部品編>	27	4/15(水),16(木)
	1M131	機械	旋盤加工技術	25	4/17(金),20(月)
	1D011	電気・電子	組込みシステムにおけるプログラム開発技術<C言語 配列・関数編>	42	4/20(月),21(火)
	1M141	機械	旋盤加工技術<実践部品編>	25	4/21(火),22(水)
	1D201	電気・電子	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	38	4/23(木),24(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
5月	1D021	電気・電子	マイコン制御システム開発技術<Arduino™編>	42	5/12(火),13(水),14(木)
	1H011	居住	実践建築設計2次元CAD技術<Jw_cad™編>	48	5/12(火),13(水),14(木),15(金)
	1H131	居住	給排水衛生設備設計実践技術	51	5/11(月),18(月)
	1M011	機械	被覆アーク溶接技能クリニック	32	5/16(土),5/17(日)
	1M201	機械	機械組立仕上げのテクニック<仕上げ作業編>	28	5/16(土),23(土),30(土),6/6(土)
	1D061	電気・電子	トランジスタ回路の設計・評価技術 New!	37	5/18(月),19(火)
	1D111	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	39	5/26(火),27(水)
	1D121	電気・電子	シーケンス制御による電動機制御技術	39	5/28(木),29(金)
	1M021	機械	半自動アーク溶接技能クリニック	32	5/30(土),31(日)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
6月	1H141	居住	換気・排煙設備設計実践技術	51	6/1(月),8(月)
	1D131	電気・電子	オペアンプ回路の設計・評価技術	37	6/2(火),3(水)
	1D031	電気・電子	マイコン制御システム開発技術<Raspberry Pi™編>	43	6/8(月),9(火),10(水)
	1M031	機械	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	33	6/13(土),14(日)
	1D071	電気・電子	デジタル回路設計技術	38	6/15(月),16(火)
	1H021	居住	BIMを用いた建築設計技術<GLOOBE™編> New!	50	6/18(木),19(金)
	1M211	機械	機械組立仕上げのテクニック<仕上げ作業習熟編>	28	6/20(土),27(土),7/4(土),7/11(土)
	1M271	生産管理	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	34	6/30(火),7/1(水)

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

月別コース一覧

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
7月	1D081	電気・電子	PLCプログラミング技術<三菱FXシリーズ™>	40	7/1(水),2(木)
	1D221	電気・電子	現場のための電気保全技術	46	7/1(水),2(木)
	1M081	機械	2次元CADによる機械製図技術<実践編>	22	7/1(水),2(木),3(金)
	1H151	居住	室内温熱環境設計技術<空調設備編>	52	7/6(月),13(月)
	1M121	機械	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	23	7/8(水),9(木),10(金)
	1H181	居住	給水装置工事における衛生的環境に配慮した工事施工法	54	7/11(土),18(土)
	1M061	機械	実践機械製図<図形理解編>	21	7/15(水),16(木),17(金)
	1H071	居住	BIMを用いた建築設計技術<Archicad™編>	50	7/18(土),19(日)
	1M091	機械	3次元CADを活用したアセンブリ技術	23	7/22(水),23(木)
1D091	電気・電子	PLCによる自動化制御技術<三菱Qシリーズ™>	40	7/28(火),29(水),30(木)	

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
8月	1M281	生産管理	生産現場で活用するリーダーシップ手法	34	8/5(水),6(木)
	1M071	機械	実践機械製図<寸法・公差編>	22	8/19(水),20(木),21(金)
	1M022	機械	半自動アーク溶接技能クリニック	32	8/22(土),23(日)
	1D101	電気・電子	PLCによるタッチパネル活用技術	41	8/25(火),26(水),27(木)
	1H121	居住	実践建築設計2次元CAD技術<電気・空調・給排水設備編>	48	8/26(水),27(木),28(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
9月	1M272	生産管理	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	34	9/1(火),2(水)
	1M052	機械	実践機械製図	21	9/2(水),3(木),4(金)
	1H161	居住	自動火災報知設備工事の施工・保守技術	55	9/5(土),6(日)
	1H031	居住	鉄骨構造物における構造計算技術	53	9/8(火),9(水)
	1M231	生産管理	MP(保全予防)設計体系構築技術-ライフコストミニмум実現-	36	9/14(月),15(火)
	1D112	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	39	9/15(火),16(水)
	1D122		シーケンス制御による電動機制御技術	39	9/17(木),18(金)
	1M191	機械	マシニングセンタプログラミング技術	29	9/29(火),30(水),10/1(木)

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

令和8年度（2026年度）

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
10月	1M223	機械	精密測定技術<長さ測定編>	30	10/7(水),8(木)
	1M282	生産管理	生産現場で活用するリーダーシップ手法	34	10/7(水),8(木)
	1D041	電気・電子	IoT機器を活用した組込みシステム開発技術 New!	43	10/7(水),8(木),9(金)
	1M301	生産管理	製造現場改善のIE活用技術<生産マネジメントと実践的改善>	35	10/14(水),15(木)
	1D051	電気・電子	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発 New!	44	10/15(木),16(金)
	1H051	居住	実践建築設計3次元CAD技術<プレゼンテーション編>	49	10/15(木),16(金)
	1H041	居住	RC構造物における構造計算技術	53	10/20(火),21(水)
	1M251	機械	生産現場の機械保全技術<各種要素編>	31	10/24(土),31(土)
	1M261		生産現場の機械保全技術<実践編>	31	11/7(土),14(土)
	1D171	電気・電子	ロボットシステム設計技術<プログラミング・カメラ編>	47	10/27(火),28(水)
	1D181		ディープラーニングによる物体検出技術	47	10/29(木),30(金)
	1D191		実習で学ぶ画像処理・照明技術 New!	47	11/10(火),11(水)
	1D211		問題解決手法を活用した製造現場の業務分析と現場改善<ロボット・AI活用編>	47	11/12(木),13(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
11月	1D202	電気・電子	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	38	11/5(木),6(金)
	1H171	居住	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術<建築配管作業編>	54	11/14(土),21(土),28(土)
	1D012	電気・電子	組込みシステムにおけるプログラム開発技術<C言語 配列・関数編>	42	11/24(火),25(水)
	1D141	電気・電子	空気圧機器の保全	45	11/24(火),25(水),26(木)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
12月	1M273	生産管理	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	34	12/1(火),2(水)
	1D082	電気・電子	PLCプログラミング技術<三菱FXシリーズ™>	40	12/2(水),3(木)
	1M032	機械	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	33	12/5(土),6(日)
	1H012	居住	実践建築設計2次元CAD技術<Jw_cad™編>	48	12/5(土),6(日)
	1H191	居住	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術<ルームエアコン編> New!	55	12/5(土),6(日)
	1D151	電気・電子	電気系保全実践技術	45	12/8(火),9(水),10(木)
	1H061	居住	在来木造住宅設計実践技術<構造・省エネ編>	49	12/10(木),11(金)
	1D032	電気・電子	マイコン制御システム開発技術<Raspberry Pi™編>	43	12/16(水),17(木),18(金)

月別コース一覧

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
1月	1D022	電気・電子	マイコン制御システム開発技術<Arduino™編>	42	1/6(水),7(木),8(金)
	1D092	電気・電子	PLCによる自動化制御技術<三菱Qシリーズ™>	40	1/12(火),13(水),14(木)
	1M311	機 械	三次元測定技術 New!	30	後日HPにてお知らせします
	1M181	機 械	NC旋盤プログラミング技術	29	1/20(水),21(木),22(金)
	1D102	電気・電子	PLCによるタッチパネル活用技術	41	1/26(火),27(水),28(木)
	1M101	機 械	設計者CAEを活用した構造解析	24	1/27(水),28(木),29(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
2月	1D161	電気・電子	PLC制御の回路技術<三菱Qシリーズ™>	41	2/2(火),3(水),4(木)
	1M041	機 械	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック	33	2/6(土),7(日)
	1D222	電気・電子	現場のための電気保全技術	46	2/6(土),7(日)
	1M291	生産管理	製造業における実践的生産管理	35	2/16(火),17(水),18(木)
	1M283	生産管理	生産現場で活用するリーダーシップ手法	34	2/17(水),18(木)
	1H122	居 住	実践建築設計2次元CAD技術<電気・空調・給排水設備編>	48	2/20(土),21(日),23(火)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
3月	1M151	機 械	旋盤加工応用技術	26	3/2(火),3(水),4(木),5(金)
	1D231	電気・電子	高圧電気設備の保守点検技術	46	3/3(水),4(木)

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月 2027

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2月 2027

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月 2027

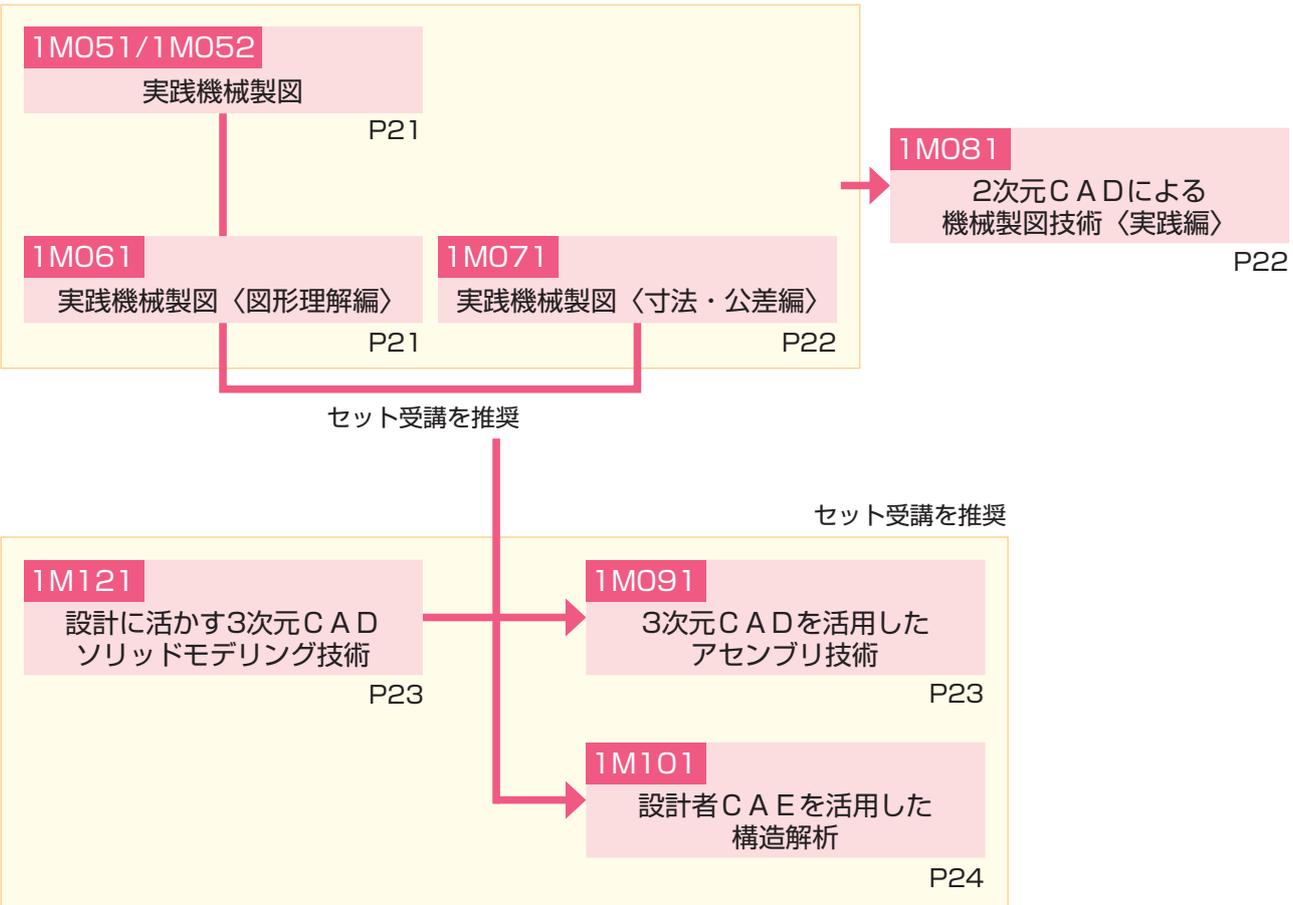
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

機械系 体系図

- 機械設計・製図を習得したい方
「機械設計・製図」フローへ
- 測定技術を習得したい方
「測定技術」フローへ
- 機械加工を習得したい方
「機械加工」フローへ
- 機械保全を習得したい方
「機械保全」フローへ
- 工場管理を習得したい方
「工場管理／生産管理」フローへ
- 安全・教育を習得したい方
「安全・教育」フローへ
- 溶接加工を習得したい方
「溶接加工」フローへ

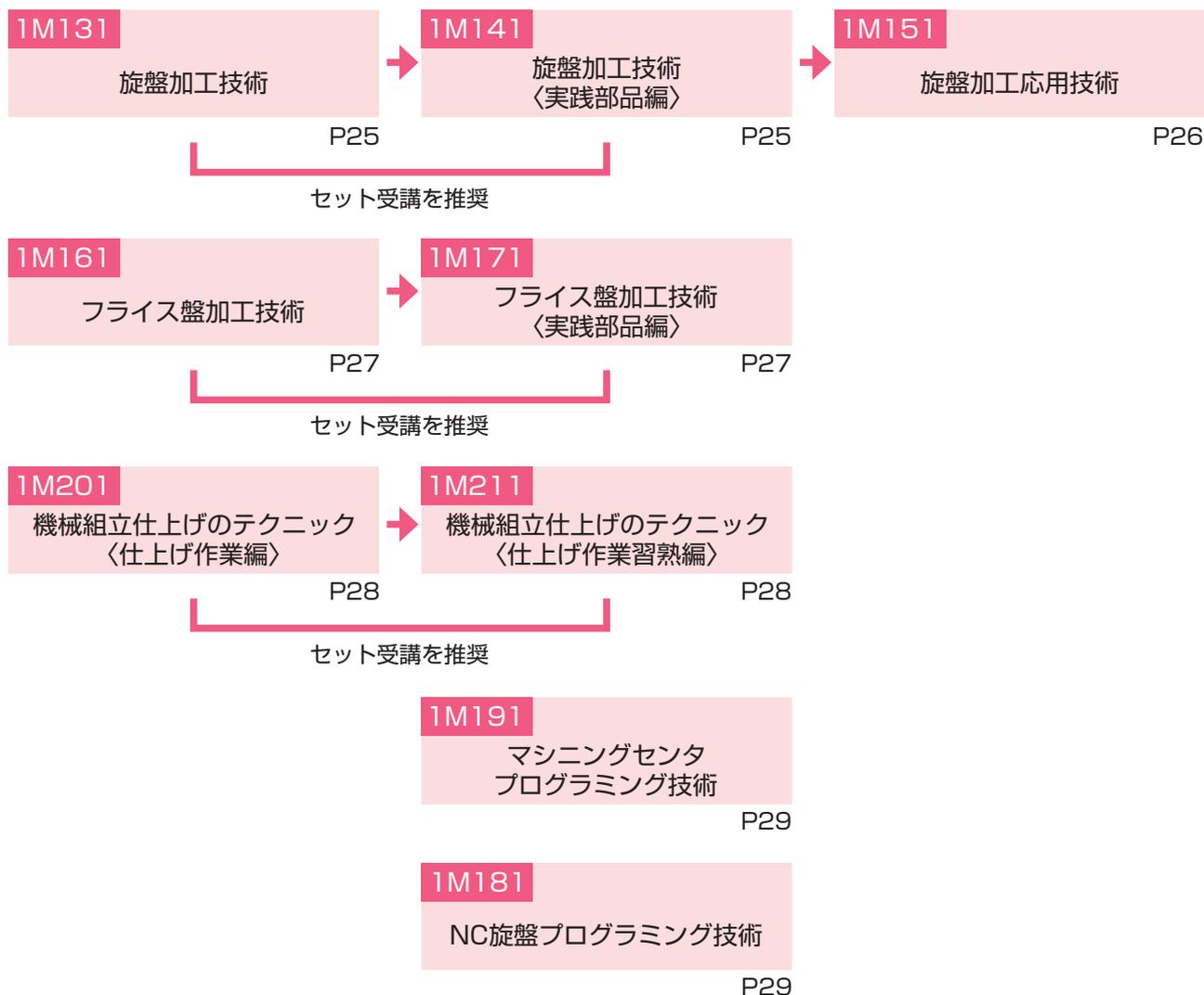
機械設計・製図 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



機械加工 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)

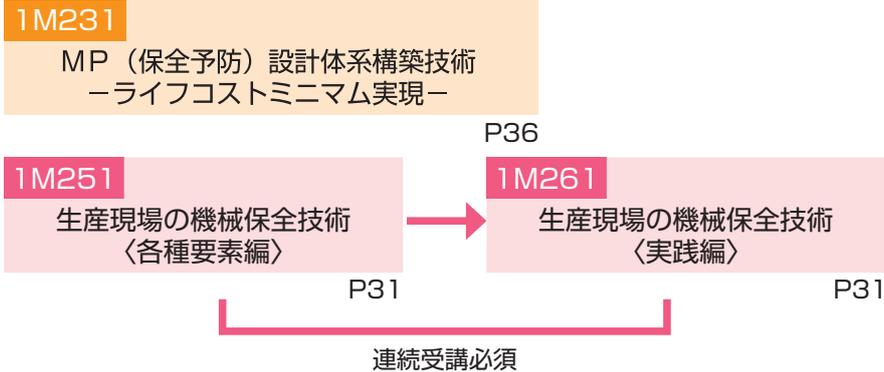


測定技術 関連技術



機械保全 関連技術

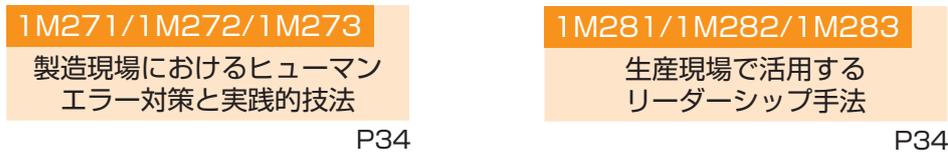
(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



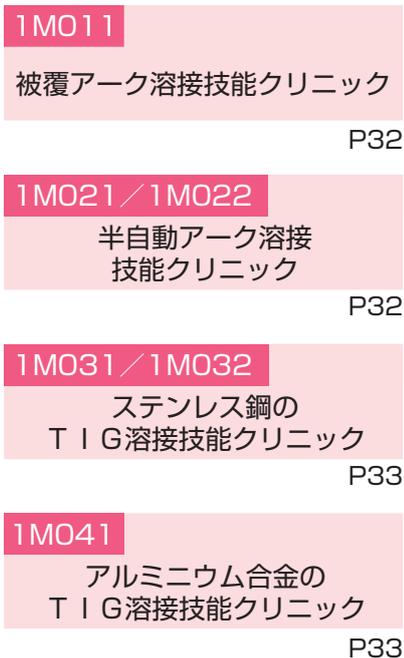
工場管理／生産管理 関連技術



安全・教育 関連技術



溶接加工 関連技術



居住系 体系図

○ 電気設備の保全を習得したい方
「電気設備」フローへ

○ 電子回路を習得したい方
「電子回路系」フローへ

○ 自動化制御を習得したい方
「自動化制御」フローへ

○ 組み込みマイコン技術を習得したい方
「組み込みマイコン (C言語・DX)」
フローへ

○ ロボットの制御を習得したい方
「自動化ロボット 関連技術」フローへ

電気設備 関連技術

1D221/1D222

現場のための電気保全技術

P46

1D231

高圧電気設備の保守点検技術

P46

1D141

空気圧機器の保全

P45

電子回路系 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)

1D061

トランジスタ回路の設計・
評価技術

New!

P37

1D131

オペアンプ回路の
設計・評価技術

P37

1D071

デジタル回路設計技術

P38

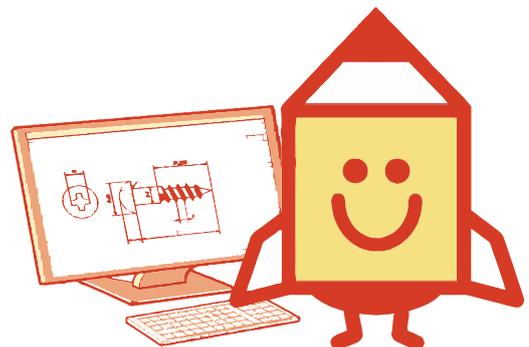
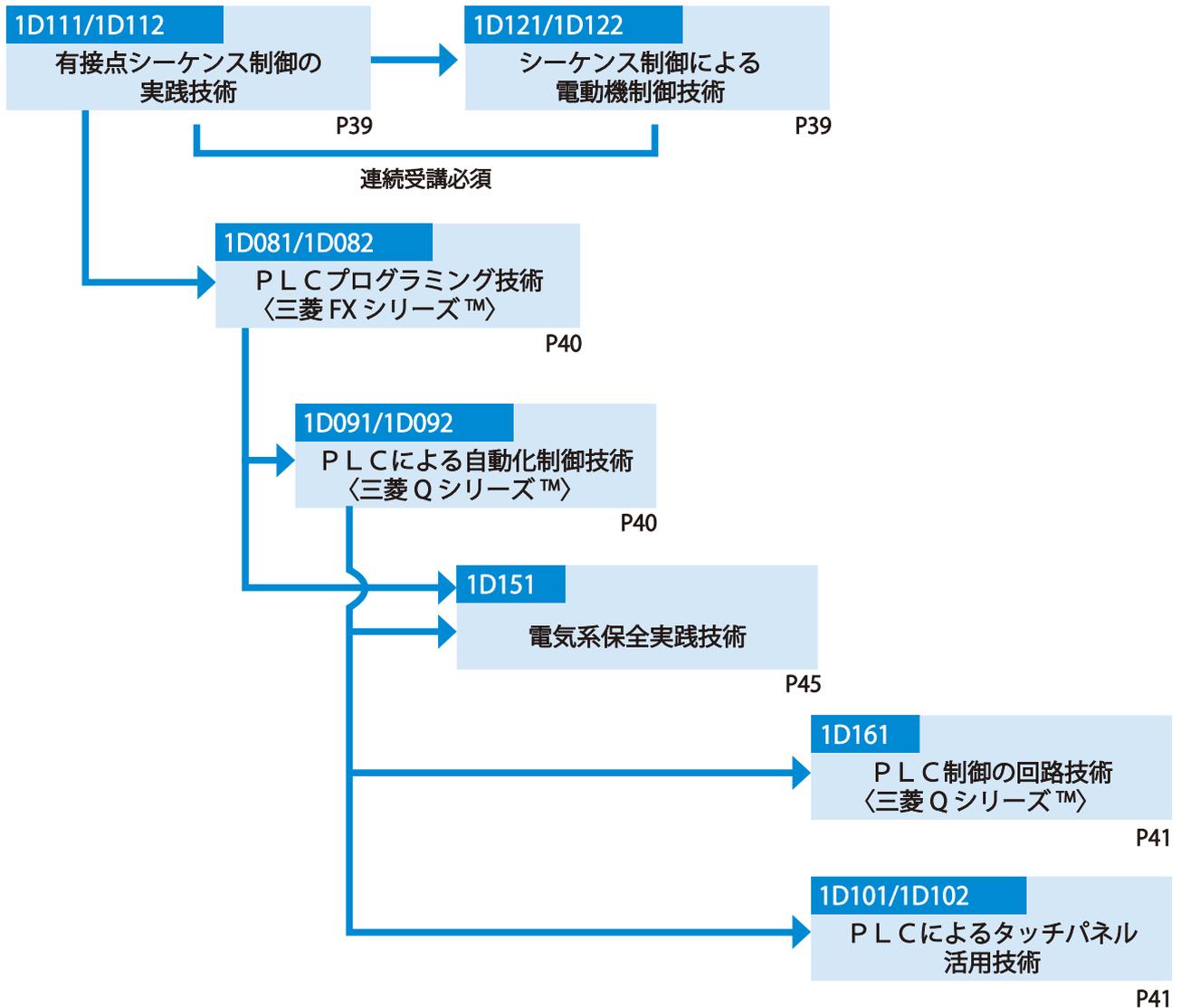
1D201/1D202

基板製作に係る鉛フリー
はんだ付け技術

P38

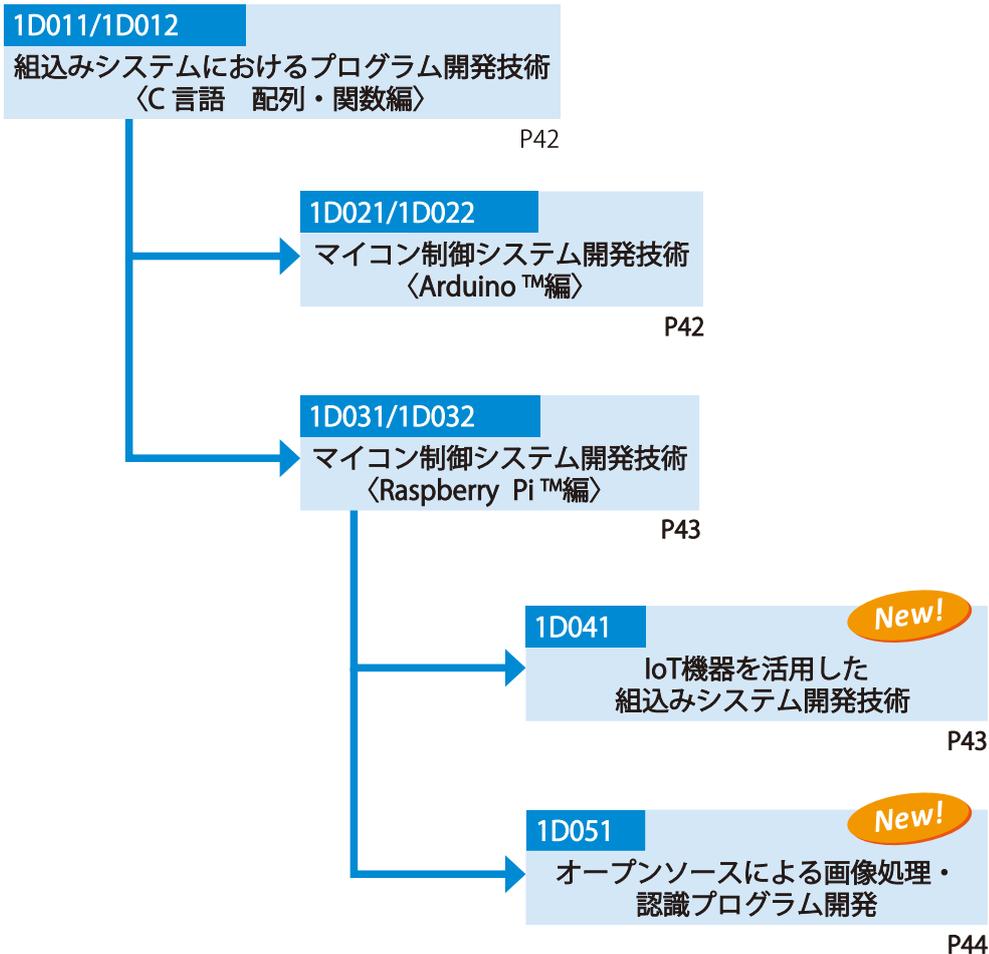
自動化制御 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



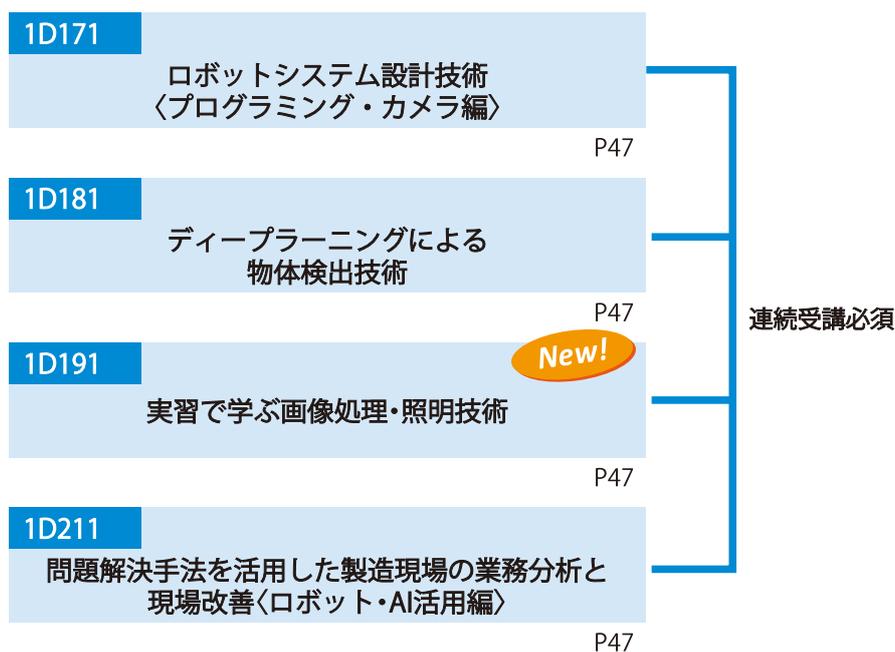
組込みマイコン（C言語・DX） 関連技術

（※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。）



自動化ロボット 関連技術

【見て触って学ぶロボット・AI・生産技術<集中育成コース>】



居住系 体系図

○ 給排水・空調・換気・排煙を習得したい方
「建築設備設計」フローへ

○ 設備CADを習得したい方
「建築設備設計」フローへ

○ 消防設備を習得したい方
「建築設備工事」フローへ

○ 給水装置工事を習得したい方
「建築設備工事」フローへ

○ 建築配管を習得したい方
「建築設備工事」フローへ

○ 建築CADを習得したい方
「建築計画／建築意匠設計」フローへ

○ コンクリート型枠施工を習得したい方
「建築施工」フローへ

○ 構造計算を習得したい方
「建築構造設計」フローへ

建築設備設計 関連技術

1H131

給排水衛生設備設計
実践技術

P51

1H141

換気・排煙設備設計実践技術

P51

1H151

室内温熱環境設計技術
〈空気調和設備編〉

P52

1H121/1H122

実践建築設計2次元CAD技術
〈電気・空調・給排水設備編〉

P48

1H191

冷媒配管の施工と空調機器
据付け技術 〈ルームエアコン編〉

P55

New!

建築設備工事 関連技術

1H161

自動火災報知設備工事の
施工・保守技術

P55

1H171

トラブル事例から学ぶ各種管の加工・
接合技術〈建築配管作業編〉

P54

1H181

給水装置工事における
衛生的環境に配慮した工事施工法

P54

建築計画 / 建築意匠設計 関連技術

1H011/1H012
実践建築設計2次元CAD技術
〈Jw_cad™編〉
P48

1H051
実践建築設計3次元CAD技術
〈プレゼンテーション編〉
P49

1H061
在来木造住宅設計実践技術
〈構造・省エネ編〉
P49

1H071
BIMを用いた建築設計技術
〈Archicad™編〉
P50

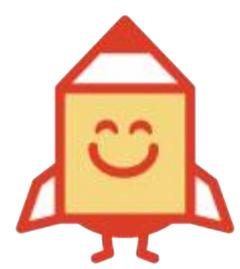
建築施工 関連技術

1H021 New!
BIMを用いた建築設計技術
〈GLOOBE™編〉
P50

建築構造設計 関連技術

1H031
鉄骨構造物における構造計算技術
P53

1H041
RC構造物における構造計算技術
P53



● 機械設計 / 機械製図

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#)

検索

実践機械製図

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ ものづくりの体幹トレーニング！ J I S に基づく機械図面の読図を身に付けたい方におすすめのコースです。

訓練内容

機械設計 / 機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた設計現場で求められる機械製図の読図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②製図一般
 - ・図面の役割
 - ・製図規格の確認
- ③機械製図上の留意事項
 - ・製図立体モデルより2次元図面への効果的図示法
- ④実践的設計図面の描き方
 - ・製図事例と部品図の作成
- ⑤製図総合課題・まとめ
 - ・組立図及び部品図の課題実習

対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

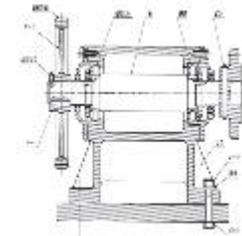
使用機器

製図立体モデル、各種機械部品図面等

コース番号	日程
1M051	4/8(水)、9(木)、10(金)
1M052	9/2(水)、3(木)、4(金)

受講者の声

- 今までふわっとしか理解していなかった内容が、具体的に分かるようになりました。
- 機械製図についてはきちんと勉強したつもりだったが、自分の身につけていた知識が間違っていたり、旧 JIS のものや JIS に準拠しているが ISO には準拠していないものなど理解できたので、今後の業務に役立てたいです。
- 今までは上司の指示のもとで行っていただけだったものが、今回のセミナーで理論的な理由を知ることができ、納得できました。



● 機械設計 / 機械製図

実践機械製図 〈図形理解編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ 図面作成は、形状理解が大切です。各種図示法や機械要素の理解と類推力の強化を図りたい方におすすめのコースです。

訓練内容

機械設計 / 機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図の図形の類推等に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②製図一般
 - ・図面の役割
 - ・製図規格の確認
- ③機械製図上の留意事項
 - ・製図立体モデルより2次元図面への効果的図示法
- ④実践的設計図面の描き方
 - ・製図事例と部品図の作成
 - ・機械要素の製図法(ねじ、歯車、軸受等)
- ⑤製図総合課題・まとめ
 - ・組立図及び部品図の課題実習
 - ・機械製図における各種類推法

対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

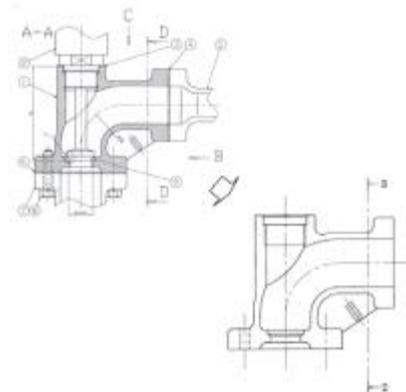
製図立体モデル、各種機械部品図面等

コース番号	日程
1M061	7/15(水)、16(木)、17(金)

※P22の「実践機械製図〈寸法・公差編〉」とのセット受講がおすすめです。

受講者の声

- 業務に必要な内容でした。
- 製造された品物の動きなど設計段階でイメージしやすくなりました。
- 図面の見方を学ぶことがなかったので勉強になりました。



● 機械設計 / 機械製図

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問い合わせ先 096-242-6613

年間
日程表
月別

体系
図

機械
系

実践機械製図 〈寸法・公差編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ 寸法は何となくいれてる？ 寸法記入の考え方、セオリーを考えてみたい方におすすめのコースです。

訓練内容

機械設計 / 機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、技能継承に向けた設計現場で求められる機械製図における寸法記入法、寸法公差方式、幾何公差、表面性状や寸法記入の順番等に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練コースの概要説明
 - ・ 専門的能力の現状確認
- ② 製図一般
 - ・ 図面の役割
 - ・ 製図規格の確認
- ③ 機械製図上の留意事項
 - ・ 加工を考慮した効果的寸法記入法
 - ・ 機能上の要求に基づく公差記入法
 - ・ 表面性状と幾何公差
- ④ 実践的設計図面の描き方
 - ・ 製図事例と部品図の作成
- ⑤ 製図総合課題・まとめ
 - ・ 組立図及び部品図の課題実習
 - ・ 実践的寸法記入法（寸法記入の順番の考え方）

対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

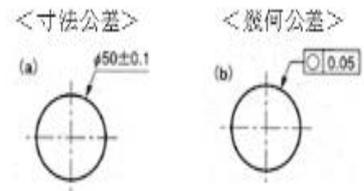
製図立体モデル、各種機械部品図面等

コース番号	日程
1M071	8/19(水)、20(木)、21(金)

※P21の「実践機械製図(図形理解編)」とのセット受講がおすすめです。

受講者の声

- 図面を描く際に、なんとなく寸法等を入れていました。そのため、ルールや順序などが全くわからなかったのですが、今後、業務に活かすことができます。
- 幾何公差等、今まであまり図面に指示していませんでしたが、知識を習得したので活かしていきたいです。
- 寸法・公差は何となく入れていましたが、寸法を入れるルールや意図が理解でき、今後の業務で図面の見方が変わると思いました。



解読の違いは？

● 機械設計 / 機械製図

2次元CADによる機械製図技術〈実践編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	13,000円

◆ 2次元CADを使って、機械設計の効率化や生産性の向上を目指したい方におすすめのコースです。

訓練内容

機械設計 / 機械製図の生産性の向上を目指して、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から、具体的加工の指示を出すための図面の作図を通し、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用方法およびデータ管理方法について習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練コースの概要説明
 - ・ 専門的能力の現状確認
- ② 機械製図の留意事項
 - ・ JIS規格の再確認
 - ・ 図面から立体形状の把握
 - ・ 読図の重要性
 - ・ 機能上の要求に基づく公差記入
 - ・ 製品性能と表面性状等
- ③ 製図効率を向上させるための準備
 - ・ 効率的な作図のための形状把握について
 - ・ データ管理機能(テンプレート、ブロック登録等)
 - ・ 異種尺度における作図法
 - ・ レイアウトの使い分け
 - ・ 作業効率のためのカスタマイズ
 - ・ 構想段階におけるCADの使い方
- ④ 実践課題・まとめ
 - ・ 各種機械図面の作図
 - ・ 課題の評価とまとめ

対象者

製造業全般の製品企画、設計、生産業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

2次元CADシステム (AutoCAD2023)

コース番号	日程
1M081	7/1(水)、2(木)、3(金)

受講者の声

- 今までCADを使ったことがなかったのですが、講習がわかりやすかったため役に立ちました。
- 今まで自己流だったので、大変役に立ちました。



● 機械設計 / 機械製図

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#) 検索

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,000円

◆ 3次元CADの機能を活用し、効率的な3次元モデル作成方法を学びたい方におすすめのコースです。

訓練内容

製品設計業務における生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた開発・設計への3次元CAD活用方法、図面の活用および設計検討などの検証方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②3次元CADソリッドモデリング
 - ・3次元CADのメリット・デメリット
 - ・3次元CADモデリング手法
- ③モデリングに必要な3ヶ条
 - ・重要な部分から作成する
 - ・基準の明確にする
 - ・1機能＝1フィーチャー
- ④設計を考慮したモデリング手法
 - ・基準とスケッチの関係
 - ・履歴と設計変更
 - ・親子関係と設計変更
 - ・モデリング構築順序の検討
- ⑤部品作成実習・まとめ
 - ・図面展開によるモデルの検証
 - ・設計変更
 - ・実習の講評とまとめ

対象者

製品設計・開発・生産技術業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム（SolidWorks2022）

コース番号	日程
1M121	7/8(水)、9(木)、10(金)

受講者の声

- モデルの作成において不便に感じていた部分を理解する方法が分かった。
- SolidWorksの使い方を深く学べた。
- 今まで外注していた治工具を作成できる可能性が広がった。



● 機械設計 / 機械製図

3次元CADを活用したアセンブリ技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆ 3次元CADのモデルを使って、効率的に組み立て検証や干渉チェック等を行い、設計期間の短縮を実現させたい方におすすめのコースです。

訓練内容

機械設計の新たな品質の創造、または製品を生み出すことを目指して、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した実習を通して、設計検証方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②3次元CADにおけるアセンブリ概要
 - ・3次元CADの特徴と組立への活用
 - ・組立検証のメリット
- ③アセンブリに必要な3ヶ条
 - ・重要なモノから組み付ける
 - ・設計基準を明確にする
 - ・1ユニット＝1サブアセンブリの原則
- ④検証ツールとアセンブリ3ヶ条
 - ・アセンブリの基準とサブアセンブリ基準の関係
 - ・ボトムアップアセンブリとトップダウンアセンブリ
- ⑤組立検証実習・まとめ
 - ・アセンブリ機能を活用した検証方法（干渉チェック等）
 - ・干渉を回避するための設計変更
 - ・実習の講評とまとめ

対象者

製品全体の設計・開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

3次元CADシステム（SolidWorks2022）

コース番号	日程
1M091	7/22(水)、23(木)

受講者の声

- 部品を組み立てて評価環境を構築する際のアセンブリや干渉チェックをCAD上でできるのでミス未然防止につながります。
- 操作スキルupでき、ルールを将来作っていきたいと思います。
- 知らない事が多くて勉強になりました。内容もわかりやすかったです。



●解析

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
コースのお問合わせ先 096-242-6613

年間
日程表
月別

設計者CAEを活用した構造解析

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,000円

体系
図

機械
系

◆ 構造解析を学び、機械設計にCAEを活用したい方におすすめのコースです。

訓練内容

設計内容の最適化や設計業務の効率化をめざして、有限要素法による計算誤差の仕組みや、応力、ひずみなど、構造解析に必要な力学の基礎を理解し、CAEシステムによる計算問題の設定方法や、結果の見方を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
・訓練コースの概要説明 ・専門的能力の現状確認
- ②構造解析の概要
・線形と非線形 ・構造解析に必要な力学の基礎知識
- ③有限要素法と計算精度
・有限要素法の概要 ・計算結果の検証
- ④モデル化演習
・境界条件の設定 ・材料特性 ・メッシュ分割 ・計算結果の評価
- ⑤課題演習
・片持ち梁のたわみ ・境界条件と解析問題の簡略化
- ⑥総括とまとめ
・質疑応答 ・まとめ

※材料力学に関する基礎知識（応力、ひずみ、ヤング率）を有する事が望ましい。

対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

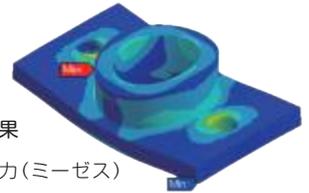
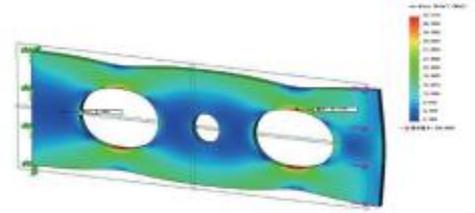
持参品

関数電卓、筆記用具

使用機器

3次元CADシステム(SolidWorks2022、SolidWorksSimulation)

コース番号	日程
1M101	令和9年1/27(水)、28(木)、29(金)

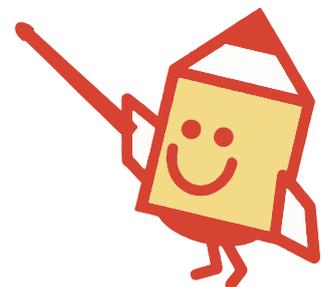


パッキン押えの
応力解析結果

表示内容: 相当応力(ミーゼス)



MEMO



●汎用機械加工

受付状況の確認は web サイト→ [ポリテクセンター熊本](#)

検索

旋盤加工技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
9名	2日	12時間	9:00～16:00	11,500円

◆普通旋盤の操作方法を習得し、軸部品の製作を担当できるようになりたい方におすすめのコースです。

訓練内容

汎用機械加工の生産性の向上を目指して、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、旋盤作業に関する技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②旋盤加工の概要と段取り
 - ・旋盤の各部名称・操作・取扱い
 - ・切削条件の設定法
 - ・工具（刃物）の取り付け
- ③加工課題実習
 - ・加工法の確認
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・端面加工、外径加工、溝加工等
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④総括とまとめ
 - ・測定・評価と改善
 - ・質疑応答

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

普通旋盤（TAKISAWA TAL460）、各種バイト、各種測定機器等

コース番号	日程
1M131	4/17(金)、20(月)

※習得向上のため、下記「旋盤加工技術(実践部品編)」との連続受講を推奨します。

受講者の声

- 初めて旋盤というものを触ったので、以前と比べて身についたと思います。
- 仕事では業務内容の加工しか知らなかったが、基礎的な部分が勉強できたので良かったです。
- 独学で覚えていた内容の補充や修正ができた。社内での教育でも内容がバラつかなくてよくなると思います。



●汎用機械加工

旋盤加工技術〈実践部品編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
9名	2日	12時間	9:00～16:00	11,500円

◆普通旋盤の実践的操作方法を習得し、高度な軸部品の製作を担当できるようになりたい方におすすめのコースです。

訓練内容

汎用機械加工の生産性の向上を目指して、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、旋盤作業に関する技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②旋盤加工の概要と段取り
 - ・旋盤の操作・取扱い確認
 - ・効率的な切削条件の設定法
 - ・工具（刃物）の取り付け
- ③加工課題実習
 - ・加工法の確認
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・中ぐり加工、テーパ加工等
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④総括とまとめ
 - ・測定・評価と改善
 - ・質疑応答

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

普通旋盤（TAKISAWA TAL460）、各種バイト、各種測定機器等

コース番号	日程
1M141	4/21(火)、22(水)

※習得向上のため、上記「旋盤加工技術」との連続受講を推奨します。

受講者の声

- 自分の知っている加工手順と違う手順をしたりして新しい知識を得ることができて良かった。
- 削る工程をメモとして残してくれるため、こういった過程で仕上がっていったのかイメージしやすかった。



旋盤加工応用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
9名	4日	24時間	9:00～16:00	21,000円

◆普通旋盤作業の技能の習熟を図りたい方におすすめです。

訓練内容

汎用機械加工の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的な旋盤作業に関する問題解決能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・安全上の留意事項
 - ・専門的能力の現状確認
- ②旋盤のねじ加工法
 - ・ねじの概要
 - ・ねじ切りの加工法
 - ・ねじ精度の確認
- ③旋盤のテーパ加工法
 - ・テーパの概要
 - ・複式刃物台の傾けによる方法
 - ・テーパ精度の確認
- ④総合課題実習（複雑形状部品）
 - ・四つ爪チャックでの芯出し作業
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・課題の測定・評価
- ⑤総括とまとめ
 - ・最適な加工法への改善検討
 - ・質疑応答とまとめ

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

普通旋盤（TAKISAWA TAL460）、各種バイト、各種測定機器等

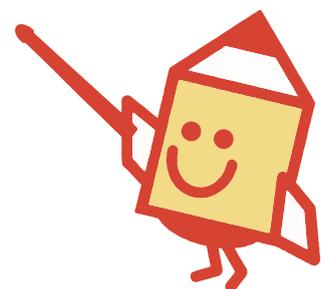
コース番号	日程
1M151	令和9年3/2(火)、3(水)、4(木)、5(金)

受講者の声

- 今まで理解していなかった事項を的確に指導していただきました。
- 理論的な知識の習得、専門的技術の習得ができました。
- 専門的な話の中で、安全に対する意識や手順について自分の中では意識が低い事を感じたので、今後は意識をしていきます。



MEMO



●汎用機械加工

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

フライス盤加工技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
9名	2日	12時間	9:00～16:00	11,500円

◆フライス盤を仕事に活用できるレベルを目指す方におすすめのコースです。

訓練内容

汎用機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス盤作業に関する技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②フライス盤加工の概要と段取り
 - ・フライス盤の各部名称・操作・取扱い
 - ・切削条件の設定法
 - ・油圧バイスでの平行出し作業
 - ・工具（刃物）の取り付け
- ③加工課題実習
 - ・加工法の確認
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・平面加工と六面体製作
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④総括とまとめ
 - ・測定・評価と改善
 - ・質疑応答

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

フライス盤（静岡鐵工所 SV-W II）、各種工具、各種測定機器等

コース番号	日程
1M161	4/13(月)、14(火)

※習得向上のため、下記「フライス盤加工技術(実践部品編)」の連続受講を推奨します。

受講者の声

- 新たな知識・技術等をよく知ることができた。
- 会社では自己流的なやり方が多く、きちんとした理論的な考え方・加工方法が学べました。



●汎用機械加工

フライス盤加工技術〈実践部品編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
9名	2日	12時間	9:00～16:00	11,500円

◆フライス盤を仕事に活用し、品質の高いものづくりを目指す方におすすめのコースです。

訓練内容

汎用機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス盤作業に関する技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②フライス盤加工の概要と段取り
 - ・フライス盤の操作・取扱い確認
 - ・切削条件の設定法
 - ・油圧バイスでの平行出し作業
 - ・工具（刃物）の取り付け
- ③加工課題実習
 - ・加工法の確認
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・エンドミルによる側面加工、溝加工製品の製作
 - ・測定およびはめ合わせによる品質確認
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④総括とまとめ
 - ・測定・評価と改善
 - ・質疑応答

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

使用機器

フライス盤（静岡鐵工所 SV-W II）、各種工具、各種測定機器等

コース番号	日程
1M171	4/15(水)、16(木)

※習得度向上のため、上記「フライス盤加工技術」の連続受講を推奨します。

受講者の声

- 学んだことが部下の指導に活かれます。
- 見て学んできたことが多かったが、いろいろな理由を学べたのが良かったです。



●仕上げ加工

機械組立仕上げのテクニック 〈仕上げ作業編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:00 ~ 16:00	17,000円

◆ やすりで1/100mm 以内の平行を出せます。

訓練内容

仕上げ加工の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた機械装置の仕上げ・組立・調整実習を通して、高精度で高効率な機械組立仕上げのテクニックを習得し、後進に作業をさせる際の指導法に必要な技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②課題図の検討
 - ・課題図の用途と必要機能の検討
 - ・加工手順の作成と時間見積り
- ③工具・測定具の調整
 - ・平行ブロック・直角ブロックの平面度・平行度・直角度の測定
 - ・ブロックの平面度・平行度・直角度の測定
- ④やすり仕上げ
 - ・課題平面の仕上げ
 - ・課題平行面の仕上げ・寸法だし
 - ・課題直角面の仕上げ
 - ・課題段状の平行面の仕上げ・寸法だし
- ⑤きさげ仕上げ
 - ・きさげによる摺動面の模様つけ
- ⑥組み立て調整・検査
 - ・手応えによるはめあいの状態判定及び調整すきま測定
 - ・摺動状態の調整、当りの改善
 - ・組み立てた製品の組立仕様に対する判定
- ⑦総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・講評とまとめ

対象者

機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、持参工具

使用機器

やすり各種、きさげ各種、測定器具各種、定盤、けがき用具、ボール盤、直角度測定器等

コース番号	日程
1M201	5/16(土)、23(土)、30(土)、6/6(土)

※習得向上のため、下記「機械組立仕上げのテクニック〈仕上げ作業習熟編〉」の連続受講を推奨します。

受講者の声

- 新たな道具の名称や使い方、また、削る際のアドバイスや注意点がありがたかったです。
- 製品の評価に対する方法や知識が深まりました。自分の目標設定についても基準を新たにすることができました。
- 普段の業務で使用する工具や技術をこまめ集中して扱うことがないので非常に役に立ちました。



●仕上げ加工

機械組立仕上げのテクニック 〈仕上げ作業熟練編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:00 ~ 16:00	17,000円

◆ やすりで加工組み合わせ及びきさげ作業を学ぶことができます。

訓練内容

仕上げ加工の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた機械装置の仕上げ・組立・調整実習を通して、高精度で高効率な機械組立仕上げのテクニックを習得し、後進に作業をさせる際の指導法に必要な技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②課題図の検討
 - ・課題図の用途と必要機能の検討
 - ・加工手順の作成と時間見積り
- ③工具・測定具の調整
 - ・平行ブロック・直角ブロックの平面度・平行度・直角度の測定
 - ・ブロックの平面度・平行度・直角度の測定
- ④やすり仕上げ
 - ・課題平面の仕上げ
 - ・課題平行面の仕上げ・寸法だし
 - ・課題直角面の仕上げ
 - ・課題段状の平行面の仕上げ・寸法だし
- ⑤きさげ仕上げ
 - ・きさげによる摺動面の模様つけ
- ⑥組み立て調整・検査
 - ・手応えによるはめあいの状態判定及び調整すきま測定
 - ・摺動状態の調整、当りの改善
 - ・組み立てた製品の組立仕様に対する判定
 - ・摺動状態・面の状態の判定
 - ・摺動状態の調整
- ⑦総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・講評とまとめ

対象者

機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、持参工具

使用機器

やすり各種、きさげ各種、測定器具各種、定盤、けがき用具、ボール盤、直角度測定器等

コース番号	日程
1M211	6/20(土)、27(土)、7/4(土)、11(土)

※習得向上のため、上記「機械組立仕上げのテクニック〈仕上げ作業編〉」との連続受講を推奨します。

受講者の声

- 一人で練習しているだけでは解決しない問題の原因や解決法を学べました。
- 道具の使い方やそのコツなどを身につけることが出来ました。
- これまで自己流な部分が多かったが、詳しいやり方を教わり、何が正しいのかが分かりました。



●NC機械加工

受付状況の確認は web サイト→ [ポリテクセンター熊本](#) 検索

NC旋盤プログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	14,500円

◆NC旋盤プログラムの各種機能やプログラムフォーマットについて身に付けたい方におすすめのコースです。

訓練内容

基本的なプログラムを理解し、プログラミングをより効率化する知識、およびノーズR補正の適切な使い方を理解し、高精度加工に対応した知識等により、実践的なプログラミング・加工方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②NC旋盤の各種機能とプログラム作成
 - ・主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - ・機械座標系とワーク座標系
 - ・工具補正機能及び注意事項
 - ・複合固定サイクル
- ③プログラミング課題実習
 - ・課題提示および注意点
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・プログラミング作業
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④プログラムの検証と評価
 - ・プログラムの確認と検討
 - ・改善策とその検証
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

※マニュアルプログラミングの実施であり、対話型プログラミングは使用しません。

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

NC旋盤 (TAKISAWA TCN-2000)、各種切削工具、測定機器等

コース番号	日程
1M181	令和9年1/20(水)、21(木)、22(金)



```

O0001
N10(G40)_A01
G00(X150.Z200)D
T0101
G55(Z50)
G96(S1500M3)
G00(X0.Z30)M08
G42
G71(U3.R0.S
G71P100Q300U0.3W0.1F0.2
N100G00(-L.F
G01Z0.F1
X20.D
X30.E-1.D
Z30.D
X50.EE-0.D
Z45.D
G00(X0.Z50)D
G01X0.F
N200(X0.Z52.D
G40
M30
M01
                    
```

●NC機械加工

マシニングセンタプログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	14,500円

◆マシニングセンタプログラムの各種機能やプログラムフォーマットについて身に付けたい方におすすめのコースです。

訓練内容

NC機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化(改善)に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②マシニングセンタの各種機能とプログラム作成
 - ・主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - ・機械座標系とワーク座標系
 - ・工具長オフセットと工具径オフセット及び注意事項
 - ・サブプログラム
 - ・固定サイクル
- ③プログラミング課題実習
 - ・課題提示および注意点
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・プログラミング作業
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④プログラムの検証と評価
 - ・プログラムの確認と検討
 - ・改善策とその検証
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

マシニングセンタ (MAZAK FJV200 II)、各種切削工具、測定機器等

コース番号	日程
1M191	9/29(火)、30(水)、10/1(木)

受講者の声

- 同じ環境の中で長く続けていると我流やマンネリになる部分があると思います、今回のセミナーで技能の深まりと新たに再発見する知識及び技能があったと思います。
- 自分の課題にしていたことが、克服されスキルアップになりました。
- インターネットからの知識には限界があり、専門的な技術を持った方から指導を受けることができ良かったです。



精密測定

精密測定技術〈長さ測定編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆測定に関する知識やノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージなどの代表的な長さ測定器の正しい取り扱いなどを学び、信頼性の高い測定をする場合に必要な知識や技能を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

測定作業の生産性向上をめざして、適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②測定の重要性
 - ・測定におけるトレーサビリティ
 - ・測定データにおける不確かさ
- ③長さ測定実習
 - ・測定器の精度と特性
 - ・ノギスの取扱と測定実習
 - ・マイクロメータの取扱と測定実習
 - ・ダイヤルゲージの取扱と測定実習
- ④測定誤差の原因と対策
 - ・不慣れによる測定誤差
 - ・熱的影響による測定誤差
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ハイトゲージ、ブロックゲージ、定盤、シリンダーゲージ等

コース番号	日程
1M221	4/6(月)、7(火)
1M223	10/7(水)、8(木)

受講者の声

- 自分自身の持つ知識の確認ができました。また、指導法も大変参考になりました。
- 頂いた資料は、業務に大いに役立てていきたい。
- 会社で分からなかった内容が理解できるようになりました。



精密測定

三次元測定技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	14,000円

◆測定・検査工程の効率化・最適化をめざして、幾何公差の考え方、指示方法を理解し、三次元測定機による測定方法を学びたい方におすすめのコースです。

訓練内容

測定作業の生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けた測定実習を通して、測定結果の信頼性を判断できる能力と、生産活動に見合った測定品質(測定点数や測定位置など)の改善に関する技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②三次元測定機の特徴
 - ・三次元測定機の概要説明
- ③三次元測定実習
 - ・三次元測定機の安定した測定方法
- ④測定の評価と改善
 - ・不確かさの要因
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

予定講師：株式会社 東京精密

対象者

測定・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三次元測定機(東京精密製 FusionNEX755)



● 機械保全

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#)

検索

生産現場の機械保全技術〈各種要素編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆ 生産現場の機械保全に関する理論・知識を網羅したい方におすすめです。

訓練内容

機械保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた機械要素の保全学習を通して、機械を構成する部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全を取り巻く構成要素
 - ・機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全における安全上の留意事項
- ③各種機械要素の損傷と対策
 - ・転がり軸受けの損傷事例と対策
 - ・歯車の損傷事例と対策
 - ・密封装置の損傷事例と対策
 - ・軸の損傷事例と対策
 - ・その他の機械要素の損傷事例と対策
- ④総括とまとめ
 - ・確認テスト ・ 質疑応答 ・ まとめ

対象者

生産現場の機械保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

※各自でテキストをご準備していただくコースです。
テキストは決まり次第ご連絡いたします。(価格は 3,000 円程度)

コース番号	日程
1M251	10/24(土)、31(土)

※下記の「生産現場の機械保全技術(実践編)」と連続受講必須です。単独での受講はできません。

受講者の声

- 故障した時や機械の動きについて、深く学べました。
- 伝達や経験で行ってきた仕事の内容が理解できました。



● 機械保全

生産現場の機械保全技術〈実践編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆ 生産現場の機械保全に関する理論・知識を網羅したい方におすすめです。

訓練内容

機械保全の現場力強化をめざして、各種機械要素、特に油圧、空圧機器に重点を置いた保全学習を通して、機械を構成する部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全を取り巻く構成要素
 - ・機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全における安全上の留意事項
- ③潤滑剤と油・空圧機器
 - ・潤滑剤の不具合事例と対策
 - ・油圧機器の不具合事例と対策
 - ・空圧機器の不具合事例と対策実習
- ④機械保全で具備すべき特殊技能
- ⑤総括とまとめ
 - ・確認テスト ・ 質疑応答 ・ まとめ

対象者

生産現場の機械保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

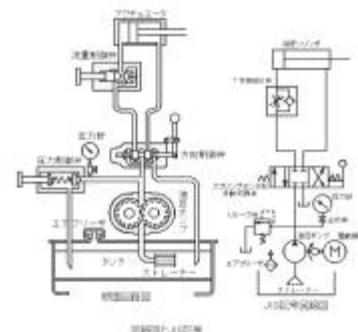
※各自でテキストをご準備していただくコースです。
テキストは決まり次第ご連絡いたします。(価格は 3,000 円程度)

コース番号	日程
1M261	11/7(土)、14(土)

※上記の「生産現場の機械保全技術(各種要素編)」と連続受講必須です。単独での受講はできません。

受講者の声

- 設備のトラブル発生時、原因、対策、予防保全等勉強になりました。
- 専門的な名称や用語の知識の向上になりました。



●溶接加工

被覆アーク溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	15,500円

◆被覆アーク溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、各種継手及び JIS 課題 (N-2F 等) の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

被覆アーク溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、溶融池制御のやり方や電流、アーク長、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的技能や作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②被覆アーク溶接に係る知識
 - 被覆アーク溶接法と機器
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・電撃防止装置等
 - 被覆アーク溶接棒
 - ・溶接棒の種類と特徴 ・溶接棒の管理について
 - 溶接施工実務
 - ・溶接施工前の段取り作業 ・溶接施工 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・被覆アーク溶接機の取り扱い方 ・ビード置き、すみ内溶接等の各種溶接施工
 - ・突合せ継手 (N-2F 等) の溶接施工 ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

BP-300、安全保護具、器具一式等

コース番号	日程
1M011	5/16(土)、17(日)

受講者の声

- 専門的な技術を経験できました。
- 作業における知識等が身についた為、作業性の向上につながります。
- これまでアーク溶接の知識や技能がなかったため、今回のセミナーを受けて実際に使うことができるようになりました。



●溶接加工

半自動アーク溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	16,000円

◆半自動アーク溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、各種継手及び JIS 課題 (SN-2F 等) の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

半自動アーク溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、溶融池制御のやり方や電流、アーク長、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的技能や作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認 ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②半自動アーク溶接に係る知識
 - 半自動アーク溶接法と機器
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・溶接トーチ、ワイヤ送給装置など
 - 溶接材料
 - ・溶接ワイヤ ・シールドガスなど
 - 溶接施工実務
 - ・溶接施工前の段取り作業 ・溶接施工 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・半自動アーク溶接機の取り扱い方 ・ビード置き、十字継手等の各種溶接施工
 - ・突合せ継手 (SN-2F 等) の溶接施工 ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

DM-350・WelbeeM350、安全保護具、器具一式等

コース番号	日程
1M021	5/30(土)、31(日)
1M022	8/22(土)、23(日)

受講者の声

- 短い時間で分かりやすく、丁寧に教えて頂きました。
- 曖昧な知識がしっかりとした理解につながりました。
- これから必要になってくる技能の習得に役立ちました。



●溶接加工

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	13,500円

◆ TIG 溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、ステンレス鋼 (t1.5～t3.0mm 程度) の各種継手の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

ステンレス鋼の各種継手を作業課題として、溶融池制御のやり方や電流、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的技術や作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認 ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②TIG 溶接及びステンレス鋼に係る知識
 - TIG 溶接法と機器の取り扱い
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・溶接トーチ
 - 溶接材料についての関連知識
 - ・溶加棒 ・シールドガス ・タングステン電極
 - 溶接施工実務についての関連知識
 - ・ステンレス鋼の溶接特性 ・目的に応じた溶接施工 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・TIG 溶接機の取り扱い方 ・角溶接、すみ肉溶接等の各種溶接施工
 - ・突合せ溶接 (TN-F 等) の溶接施工 ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業者に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

DA-300P、安全保護具、器工具一式等

コース番号	日程
1M031	6/13(土)、14(日)
1M032	12/5(土)、6(日)

受講者の声

- 今まで特に考えずにやっていた作業の詳細が明確になり、良く理解できました。
- 自分が思っていた事とは違う技術を知り、新たな発想が生まれた良い機会となりました。
- TIG 溶接について知ることができ、今後職場で活用していきたいです。



●溶接加工

アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	14,000円

◆ TIG 溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、アルミニウム合金 (t2.0mm 程度) の各種継手の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

アルミニウム合金の各種継手を作業課題として、TIG 溶接施工における溶融池制御のやり方や電流、溶接速度、パルス条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、各種継手の溶接作業を行うなかで各人の現在の習得度を確認し、その結果に基づいてTIG 溶接作業技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的技術や作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認 ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②TIG 溶接及びアルミニウム合金に係る知識
 - TIG 溶接法と機器の取り扱い
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・溶接トーチ
 - 溶接材料についての関連知識
 - ・溶加棒 ・シールドガス ・タングステン電極
 - 溶接施工実務についての関連知識
 - ・アルミニウムおよびその合金の溶接特性 ・目的に応じた溶接施工
 - ・溶接性に及ぼす出力電流波形の影響 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・TIG 溶接機の取り扱い方 ・突合せ溶接、角溶接、すみ肉溶接等の各種溶接施工
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業者に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

DA-300P、安全保護具、器工具一式等

コース番号	日程
1M041	令和9年2/6(土)、7(日)

受講者の声

- 新しい技術が身に付きました。
- 今回の受講は、会社の今後の方針に基づく面と技術の習得でした。なかなか思うようにいかないが、今回の知識が技能に結びつくようにしたいです。
- アルミの特徴や性質などが理解できました。



●指導技法

生産現場で活用するリーダーシップ手法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:00～16:00	5,000円

◆生産現場のリーダーとして必要となるリーダーシップ手法を習得するコースです。

訓練内容

指導技法の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産現場における事例演習を通して、部下の指導方法や育成方法など製造業に適したリーダーシップ手法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②生産現場とリーダーシップ
 - ・リーダーシップが与える生産活動への影響
- ③現場管理者がめざすもの
 - ・生産現場における現場管理者の役割と指示のあり方
 - ・変化しつづける製造現場への対応と生産性の向上
 - ・目標達成に必要な行動、現場管理者の姿
- ④リーダーシップの要点
 - ・三つのスキル(テクニカル ヒューマン コンセプチュアル)
 - ・チームメンバーとの連携とコミュニケーション
 - ・部下の個性に応じた指導及び成長の確認
- ⑤生産現場における事例演習
 - ・生産現場で発生する問題への対処法
 - ・製造現場で発生する課題とリーダーの役割
 - ・生産性改善のためのチーム作りとコミュニケーション
- ⑥総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

コース番号	日程
1M281	8/5(水)、6(木)
1M282	10/7(水)、8(木)
1M283	令和9年2/17(水)、18(木)

受講者の声

- リーダーとして、どう課題に向き合うか、どう同僚や部下に接するか考えることができました。
- 会社の考え方、コミュニケーションの取り方が理解できました。
- リーダー業務に必要なスキルを理解することができました。



●工場管理／技術管理

製造現場における ヒューマンエラー対策と実践的技法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
20名	2日	12時間	9:00～16:00	5,000円

◆生産現場の運営・管理・業務改善に従事する方におすすめです。

訓練内容

安全管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けたヒューマンエラーの現状や発生のメカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策(現場改善等)を講じるための能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②ヒューマンエラーとは
 - ・ヒューマンエラーの定義
 - ・脳の働きとヒューマンエラー
 - ・ヒューマンエラーの発生要因(見間違い、勘違い、思い込み)
- ③ヒューマンエラー発生の問題発見
 - ・ヒューマンエラーの発生原因を見つける視点
 - ・情報処理における発生要因
 - ・内的要因と外的要因
- ④ヒューマンエラー防止策
 - ・ヒューマンエラーへの具体的対応、取り組みポイント
 - ・未然防止の考え方
 - ・災害発生のメカニズム
 - ・各種手法の活用(エラーチェーン分析等)
- ⑤ヒューマンエラー発生要因分析・対策実習
 - ・ヒューマンエラー発生要因分析(グループディスカッション)
 - ・ヒューマンエラー防止策提案と実施(グループディスカッション)
 - ・討議内容発表
- ⑥総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・講評とまとめ

対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

コース番号	日程
1M271	6/30(火)、7/1(水)
1M272	9/1(火)、2(水)
1M273	12/1(火)、2(水)

受講者の声

- 品質的な問題が多く発生しているため、対策の取り方などの改善にとっても役立つ内容でした。
- 職場で起きている問題に対して、新しい観点で見ることができるようになりました。
- 職場で活かせるやり方が分かりました。



工場管理 / 生産管理

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

製造現場改善の I E 活用技術 (生産マネジメントと実践的改善)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	7,000円

◆ IE手法を学び、生産性の高い作業方式立案と共に実践的な作業管理が行える能力を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

生産計画/生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた作業に潜む様々なムダを発見・改善する実践的なIE手法実習を通して、生産性の高い作業方式立案と共に実践的な作業管理が行える能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の確認
 - ・安全上の留意事項
- ②企業活動と生産性
 - ・企業活動と生産性
 - ・生産マネジメントの要点
 - ・作業改善とIE
- ③IE分析手法
 - ・工程分析(製品工程分析・作業者工程分析)と改善着眼点
 - ・稼働分析(ワークサンプリング他)と改善着眼点
 - ・動作研究と動作経済の原則
 - ・連合分析(人・機械、組み作業)と段取り改善
 - ・ラインバランスと改善着眼点
 - ・マテハン・レイアウト(運搬分析、レイアウト種類)
- ④IE分析実習
 - ・実技課題と工程分析実習、ワークサンプリング実習
 - ・改善提案と改善実施(グループレディスカッション)
 - ・討議内容発表
 - ・改善効果確認
- ⑤まとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

製造業における生産活動に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、プロジェクタ

コース番号	日程
1M301	10/14(水)、15(木)

受講者の声

- 自身の部署内でのムダ等を排除し、改善し、結果的にコスト削減につながり良い製品が出来る様に感じた。
- 一つ一つの説明、方法等、例えばの話も交えてセミナーを進めて頂いて理解しやすかったです。全ての部分を早急に実行出来るわけではありませんが、見て気付く点から改善していきたいと思います。
- 資料が分かりやすく、話も聞きやすかったです。内容的にはすぐに理解できない部分や難しい部分もありましたが、とても面白いと感じました。今回のセミナーで学んだことを、少しずつにはなるとは思いますが、標準時間の設定など会社のために役立てていきたいと思っています。



工場管理 / 生産管理

製造業における実践的生産管理

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	13,500円

◆ 生産管理の原理・原則を理解し製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

生産計画/生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産管理の原理・原則を理解し製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状把握
 - ・安全上の留意事項
- ②生産管理とは
 - ・生産管理の概要
 - ・各業務別管理の要点
 - ・生産に付随する管理の要点
- ③生産管理の実態
 - ・製造企業が生産管理業務の考え方
 - ・参加企業が困っている生産管理の問題点と改善方針(質疑・応答形式)
- ④生産管理演習
 - ・生産期間短縮と即納を維持するための課題と具体化方針
 - ・生産計画作成の課題と具体化方針
 - ・他部門と連携するための課題と具体化方針
- ⑤まとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、電卓

使用機器

パソコン、プロジェクタ

コース番号	日程
1M291	令和9年2/16(火)、17(水)、18(木)

受講者の声

- 受講するまではどうやって改善していけばいいのかさえ分かりませんでした。今回いっぱいヒントをもらい役に立てそうと思いました。
- 自社のボトルネックとなっている問題点が見え、改善する必要性を改めて再認識できました。また、日々の業務で取り組める内容だったので、他部門への横展開がしやすくなりました。
- 一般的な生産管理の考え方で会社で学んだ生産管理の考え方の相違、また色々な企業の問題点など意見交換が出来てとても役に立ちました。



●品質管理

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

生産現場に活かす品質管理技法<QC7つ道具編>

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	7,000円

年間
日程表
月別

◆ 社内で取り扱う測定データを活用し、製品の不良等を未然に防ぐ品質管理手法を学びたい方におすすめのコースです。

訓練内容

品質管理の生産性の向上を目指して、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的な管理手法を通して、統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練コースの概要説明
 - ・ 専門的能力の現状確認
- ②品質管理の概要
 - ・ 品質管理の重要性
 - ・ 製造部門のQC的見方・考え方（QCストーリー）
 - ・ データの取り方とまとめ方
- ③統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上
 - ・ 製造業における統計手法の重要性
 - ・ QC7つ道具の活用
 - ・ 製造ラインにおける分散と標準偏差
 - ・ 正規分布と推計統計
 - ・ 疑問点、問題点の抽出
- ④生産現場に活用できる応用課題実習
 - ・ 工程能力指数の確認と検討法
 - ・ 管理図の作成と工程の監視
 - ・ 相関図の作成と要因解析
- ⑤総括とまとめ
 - ・ 質疑応答
 - ・ まとめ

対象者

生産効率や品質向上に関し業務改善等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

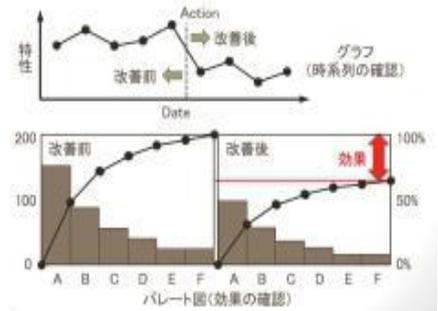
使用機器

パソコン

コース番号	日程
1M241	4/2(木)、3(金)

受講者の声

- 品質管理にあまり関わる事はなかったが、受講したことにより分からなかったことがスキルアップにつながった。
- 不適合不適合率についての管理図は知らなかったため、今後事業に利用できます。
- 統計的手法だけでなく問題解決の手法と合わせて学ぶ事ができました。



体系図

機械系

生産管理系

●設備保全

MP（保全予防）設計体系構築技術 -ライフコストミニмум実現-

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	14時間	9:00 ~ 17:00	9,500円

◆ 設備の管理・保全・新規設計、設備計画に従事する方におすすめです。

訓練内容

機械保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、診断・予防保全、技能継承に向けたMP（保全予防）の全体的な考え方・設備保全における経済性・MPの必要性を理解し、MP活動の組織的な運営方法・設計チェックポイント・MP設計標準など、設備のLCCミニмумを実現させるための方策を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練コースの概要説明
 - ・ 専門的能力の現状確認
 - ・ 安全上の留意事項
- ②設備保全と経済性
 - ・ 保全方式の分類と特徴
 - ・ 設備のライフサイクルとMPの範囲
 - ・ 改良保全の必要性
- ③MPの活動と必要性
 - ・ MP情報の収集
- ④機械要素の保全性検討実習
 - ・ 機械要素設計の問題点指摘とその対策演習
 - ・ MP設計の基本仕様
 - ・ 詳細設計段階のチェック
 - ・ 構造設計の信頼性
- ⑤比較・選定基準の検討
 - ・ 設備能力の評価
 - ・ 官庁へ届出が必要な設備と関係法規
- ⑥MP設計標準の討議
 - ・ 機械要素、要素機器、機械構造について討議
- ⑦総括とまとめ
 - ・ 質疑応答
 - ・ まとめ

対象者

設備の管理・保全・新規設計、設備計画に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

受講者の声

- 実際、生産現場に活かせる保全方法だと思いました。また、改善事例も役に立ったと思います。
- 開発を行う上で、製品化後の保全まで考えて設計しておくことが重要であることが分かりました。



●電子回路設計技術

受付状況の確認は web サイト→ ポリテクセンター熊本 検索

トランジスタ回路の設計・評価技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆半導体の構造から、ダイオード・トランジスタ素子、及び測定器を用いた回路計測を学ぶコースです。

訓練内容

トランジスタを中心に、アナログ能動素子についての概要や特性を理解するとともに増幅回路の設計と製作を通して、その利用法を習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②電子回路素子の知識
 - ・トランジスタの動作
 - ・増幅回路への応用
- ③ダイオード素子の知識
 - ・ダイオードの動作
- ④トランジスタ利用回路の動作原理
 - ・スイッチング回路
 - ・増幅回路
- ⑤各回路の設計・評価
 - ・スイッチング回路
 - ・増幅回路
- ⑥まとめ



コース番号	日程
1D061	5/18(月)、19(火)

受講者の声

- 名前を聞くことが多かったが性能や特徴などを知らなかったので、とても勉強になった。
- 回路図を読んでいる時に、なぜ用いているのか分からなかったが、理解できた。

対象者

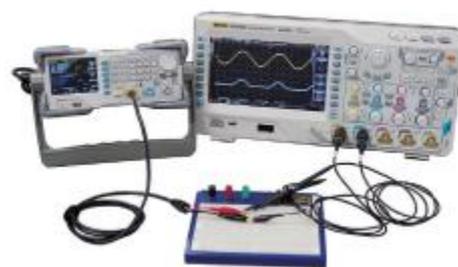
電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

DC電源・ファンクションジェネレータ・オシロスコープ・半導体素子



●電子回路設計技術

オペアンプ回路の設計・評価技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆オペアンプ回路の設計及びブレッドボード上での製作及び測定器による回路測定を学ぶコースです。

訓練内容

オペアンプを中心に、アナログ能動素子についての概要や特性を理解するとともに増幅回路の設計と製作を通して、その利用法を習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②オペアンプ概要
 - ・オペアンプの動作
 - ・各種増幅回路
- ③オペアンプ利用回路と動作原理
 - ・コンパレータ回路
 - ・増幅回路
 - ・ボルテージフォロウ
- ④オペアンプ利用回路の設計・評価
 - ・コンパレータ回路
 - ・増幅回路
 - ・ボルテージフォロウ
- ⑤まとめ

コース番号	日程
1D131	6/2(火)、3(水)

受講者の声

- 回路に関する理解が深まったことで、業務内での設計・検討の幅が広がった。
- オペアンプを用いた増幅回路について、その基礎を学ぶことができた。

対象者

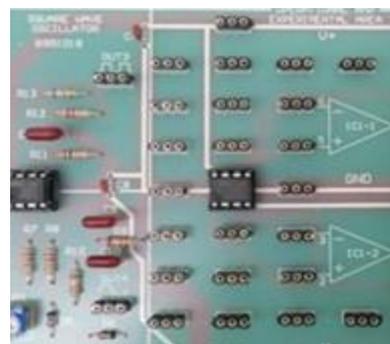
電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

DC電源・ファンクションジェネレータ・オシロスコープ・アナログ素子



●電子回路設計技術

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

デジタル回路設計技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	9,000円

年間
日程表
月別

◆電子回路関係の業務に携わる方を対象とした、論理回路、デジタル回路を学ぶコースです。

訓練内容

電子機器等における回路設計技術の技能高度化をめざして、デジタルICの知識と論理回路を理解し、実用的な回路設計技術を習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②デジタルICのハードウェア
 - ・デジタルIC概要と動作
- ③組み合わせ論理回路の設計
 - ・論理素子の機能と動作
 - ・組み合わせ論理回路の設計演習
- ④入出力回路
 - ・インターフェース回路設計
- ⑤レジスタ回路・カウンタ回路
 - ・タイマーICによる発振回路
 - ・レジスタ・カウンタ機能素子の活用法
- ⑥総合実習
- ⑦まとめ

コース番号	日程
1D071	6/15(月)、16(火)

受講者の声

- 業務で部品を選定するための基本的な知識を身に付けることができた。
- 設計変更業務時に、デジタル回路の動作が分かるようになった。

体系図

機械系

生産管理系

電気・電子系

対象者

電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

DC電源・ファンクションジェネレータ・オシロスコープ・デジタル素子



●デバイス・基板製造

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	13,000円

◆高度な鉛フリーはんだ付け技術を習得されたい方におすすめのコースです。

訓練内容

鉛フリーはんだ付け技術として、はんだごての選定、こて先温度の設定、はんだ付けの基本動作、時間などを習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②はんだ付け概要
 - ・鉛フリー化
 - ・手はんだ付けの科学的知識
- ③はんだ付けの手法
 - ・鉛フリー手はんだ付け方法
 - ・鉛フリー手はんだ付け作業のポイント
- ④はんだ付け開発演習
 - ・鉛フリー手はんだ付け実習
 - ・挿入実装、表面実装
- ⑤まとめ

コース番号	日程
1D201	4/23(木)、24(金)
1D202	11/5(木)、6(金)

受講者の声

- 業務上はんだ付け作業をやることがあり、基本的なところを知らずに見よう見まねでやったりしていたので、正しい知識を教えてくださいまして助かりました。
- 新たな技能技術を知ることが出来ました。

対象者

電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

はんだごて、ニッパ、ペンチ



●シーケンス(PLC)制御設計

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

有接点シーケンス制御の実践技術・シーケンス制御による電動機制御技術

定員:10名 受講料:18,000円(2コース合計)

【コース内訳】

セットコース	コース名	コース番号	日程	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	有接点シーケンス制御の実践技術	1D111	5/26(火)、27(水)	2日	12時間	9:00~16:00	9,000円
セットコース	コース名	コース番号	日程	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	シーケンス制御による電動機制御技術	1D121	5/28(木)、29(金)	2日	12時間	9:00~16:00	9,000円

セットコース	コース名	コース番号	日程	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	有接点シーケンス制御の実践技術	1D112	9/15(火)、16(水)	2日	12時間	9:00~16:00	9,000円
セットコース	コース名	コース番号	日程	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	シーケンス制御による電動機制御技術	1D122	9/17(木)、18(金)	2日	12時間	9:00~16:00	9,000円

【お申し込み時の留意事項】

- ・このコースは、2コース全ての受講が必須となっております。
- 1コースだけの受講はできませんので、ご了承ください。
- ・請求書及び修了された際にお渡しする修了証書もコースごとに発行いたします。
- ・人材開発支援助成金等の申請をされる際は、2コースごとに申請が必要です。

◆有接点シーケンス回路の設計・製作技法をしっかりと学び、有接点シーケンス制御技術を用いた電動機(コンベアユニット)の制御を学びます。

訓練内容

制御機器・アクチュエータの原理や構造と図記号、回路の読み方などの知識を理解すると共に、配線作業・点検作業・試運転などの実習を通して、実践的な回路設計技術及び運用技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②有接点シーケンス制御の概要
 - ・シーケンス制御の概要と構成
- ③各種制御機器の種類・選定方法
 - ・各種制御機器の図記号の読み方
 - ・電磁リレー、タイマーの構造と選定
- ④主回路と制御回路
 - ・シーケンス図の表し方
- ⑤有接点シーケンス製作実習
 - ・配線作業
 - ・ベルトコンベア装置を用いた制御実習
- ⑥まとめ

受講者の声

- 会社の業務でよく目にする図面を自分で論理立てて作成することが出来そうです。
- 業務上で目にすることはあった、リレーの原理を知ることが出来ました。
- 既存の設備にタイマー等を加え一人で改良できます。



対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

リレー盤・コンベアユニット

●シーケンス(PLC)制御設計

PLCプログラミング技術 〈三菱FXシリーズ™〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	9,000円

◆ PLCの構造、入出力回路の結線から、基本命令を中心としたPLCプログラミングを実習を中心に学習し、PLCによる制御を習得します。

訓練内容

PLC制御の基本である、デバイス割り付けとサポートソフトによるプログラミング、モニタリング技術を習得します。また、実習を通して基本命令、応用命令を用いた、実用的なプログラミングについても習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②自動化におけるPLCに係る知識
 - ・PLCの構造と構成
 - ・インターフェースと結線に係る知識
- ③実践的プログラミングの手法
 - ・GPPの取扱い方法
 - ・PLCの命令体系について
 - ・プログラミング手法について
- ④デバッグ
 - ・動作テストによる異常の発見方法
 - ・GPPモニタモードによるプログラムの修正方法
- ⑤まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱Fx-3G

コース番号	日程
1D081	7/1(水)、2(木)
1D082	12/2(水)、3(木)

受講者の声

- 何となく知識で業務に取り組んでいた為、理論的に理解ができました。
- 配線及びプログラミングの方法を知ることができました。



●シーケンス(PLC)制御設計

PLCによる自動化制御技術 〈三菱Qシリーズ™〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆ PLCにおける“数”の取扱い、順序回路の考え方を学び、数値制御、順序制御によるベルトコンベア等PLC制御の実践技術を学びます。

訓練内容

自動化生産システムの設計・保守の最適化を目指して、PLCの数値演算処理に関する手法とシーケンス制御に関する応用力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②FAモデルの構成
 - ・PLCの構造と構成
 - ・インターフェースと結線に係る知識
- ③制御回路製作実習
 - ・入出力機器との配線
 - ・GPPの取り扱い方法
 - ・プログラミング手法について
 - ・応用命令を用いた数値の取り扱い
- ④総合実習
 - ・ベルトコンベア装置を用いた自動化制御実習
- ⑤まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱Qシリーズ

コース番号	日程
1D091	7/28(火)、29(水)、30(木)
1D092	令和9年1/12(火)、13(水)、14(木)

受講者の声

- 内部リレーやショートカットキーの使い方が上手くなりました。
- 予知保全などのシステム開発に役立つと思われるシステムの作り方を習得できました。
- 生産装置のタクトアップ、停止期間の最小化ができました。



シーケンス(PLC)制御設計

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

PLC制御の回路技術 〈三菱Qシリーズ™〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ 空気圧2軸ロボットを用いて実際に機器を動かす順序制御によるPLCプログラミングを習得します。

訓練内容

PLC (プログラマブル・ロジック・コントローラ) に関する知識、回路(ラダー図)の作成技術を総合実習を通して、実践的な回路設計技術、運用管理、安全管理などの実務能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②自動化におけるPLCに係る知識
 - ・インターフェースと結線に係る知識
 - ・実習機材を用いた回路設計技術
- ③実践的プログラミングの手法
 - ・PLCの命令体系について
 - ・プログラミング演習
- ④総合演習
 - ・空気圧2軸ロボットを用いた自動化制御実習
- ⑤まとめ
 - ・運用管理
 - ・安全管理

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

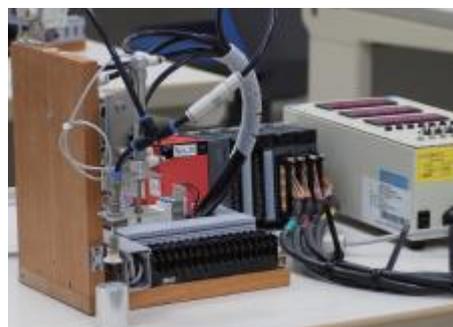
使用機器

三菱Qシリーズ

コース番号	日程
1D161	令和9年2/2(火)、3(水)、4(木)

受講者の声

- PLCは使用していたが自己流でした。今回学んだ事でこれまで知らなかった知識を修得出来ました。
- 順序を踏んで説明があり、実際にやってみる事で理解が深まりました。



シーケンス(PLC)制御設計

PLCによるタッチパネル活用技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ 改造・改善。タッチパネルで見える化を行えます。

訓練内容

ライン設備機能の効率化・改善をめざして、生産現場で活用されているタッチパネルの効率的な画面設計とそれに対応したPLCのプログラミング方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②タッチパネルの概要
 - ・タッチパネルの構造について
 - ・PLCとタッチパネルの通信について
- ③回路設計
 - ・PLCラダープログラム演習
- ④画面作成実習
 - ・GT Designer の取扱い方法
 - ・各種入出力機能の取り扱い方法(スイッチ、ランプ等)
- ⑤総合課題
 - ・タッチパネルによるベルトコンベア装置の制御実習
- ⑥まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱 GOT

コース番号	日程
1D101	8/25(火)、26(水)、27(木)
1D102	令和9年1/26(火)、27(水)、28(木)

受講者の声

- タッチパネルの仕組みの理解につながりました。
- 会社内での教育では殆どできなかったのので、基礎等が理解できました。



●組み込みシステム開発・設計

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

組み込みシステムにおけるプログラム 開発技術〈C言語 配列・関数編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	9,000円

年間	月別
日程表	

体系図

機械系

生産管理系

電気・電子系

◆C言語による組み込みシステム開発を行う方におすすめのコースです。

訓練内容

マイコン制御システムにおけるプログラム開発に必要なC言語(文法、配列等)を習得することにより、システムまたはプログラム上での問題点の解決を図ります。 ※セミナーにはポイント・構造体は含まれません。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②C言語の文法(変数・データ型)
- ③演算子について
 - ・演算子の種類(算術、比較、論理)
 - ・演算子の順序
- ④制御文を用いたプログラム(分岐・繰り返し)
- ⑤プログラム開発演習
 - ・配列を用いたプログラム
 - ・関数の定義と使用について
- ⑥まとめ・評価

対象者

組み込みシステム開発のためにC言語を習得したい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

PC

コース番号	日程
1D011	4/20(月)、21(火)
1D012	11/24(火)、25(水)

※習得度向上のため、「マイコン制御システム開発技術〈Arduino™編〉」を続けて受講して頂くことより効果的です。

受講者の声

- C言語の理解を深められました。C言語について自学していきたいです。
- C言語の記述について理解することができました。
- 基本からの指導であったためわかりやすく、実際にプログラムを動かす、順序立てて学ぶことができました。



●マイコン制御設計

マイコン制御システム開発技術 〈Arduino™編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆Arduinoを用いたマイコン制御技法を習得します。短時間でマイコン制御や製品試作を行いたい方におすすめのコースです。

訓練内容

短時間でマイコン制御方法を習得したい方向けの講座です。入出力装置をマイコンボードに接続するための電子回路の組み立てとC言語に近いArduino言語を用いた制御プログラム開発について習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②Arduino概要
 - ・Arduinoの特徴
 - ・Arduinoの種類
 - ・Arduino活用事例
- ③開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ④入出力回路とプログラミング
 - ・LED制御
 - ・スイッチ制御
 - ・各種センサーを用いた制御プログラム開発演習
- ⑤マイコン内蔵周辺機能(A/D変換、タイマ、割込み等)プログラミング
 - ・A/D変換によるセンサーからの値の取得
- ⑥プログラム開発演習
 - ・シリアル通信とセンサ値取得
- ⑦まとめ

対象者

制御システム開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

PC、Arduino

コース番号	日程
1D021	5/12(火)、13(水)、14(木)
1D022	令和9年1/6(水)、7(木)、8(金)

※本コースを受講される方は事前に「組み込みシステムにおけるプログラム開発技術〈C言語配列・関数編〉」を受講されることをおすすめします。

受講者の声

- 現場でArduinoをよく使っているのので、改めてきちんと理解することが出来ました。



●マイコン制御設計

受付状況の確認は web サイト→ [ポリテクセンター熊本](#)

検索

マイコン制御システム開発技術 〈Raspberry Pi™編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆Raspberry Pi ができること、向き不向きを3日間で体得します。

訓練内容

小型のパソコンとして利用できるARMプロセッサが搭載されたシングルボードコンピュータです。LinuxのOS上で動作する入出力制御プログラム開発技術を習得します。また、小型パソコンとしての活用方法を解説します。カメラやスピーカーなどの制御が容易に実現でき、製品試作や治具製作に適しています。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②Raspberry Pi 概要
 - ・Raspberry Pi の特徴
 - ・Raspberry Pi の種類
 - ・Raspberry Pi 活用事例
- ③開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ④GPIOによる入出力プログラミング
 - ・LED制御
 - ・スイッチ制御
- ⑤周辺機器制御プログラミング
 - ・カメラ制御
 - ・スピーカー制御
- ⑥リモート接続
 - ・ファイルサーバとしての活用
- ⑦まとめ

対象者

制御システム開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

PC、Raspberry Pi

コース番号	日程
1D031	6/8(月)、9(火)、10(水)
1D032	12/16(水)、17(木)、18(金)

※習得度向上のため、「オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発」を続けて受講して頂くことより効果的です。

受講者の声

- 自動化設備の試作、動作確認等に活用できます。
- IoT関係の活動を展開するためのキーマンを作ることができました。



●組み込みシステム開発・設計

IoT機器を活用した 組み込みシステム開発技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆IoT機器を用いたデータ収集や可視化について学ぶことができるコースです。

訓練内容

組み込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けたIoT機器における組み込みシステムプログラミング実習を通して、システムの最適化のための開発・設計手法を習得します。

- ①組み込みシステムとIoT
 - ・組み込みシステムの概要
 - ・IoT機器の概要
- ②組み込み開発環境構築
 - ・組み込みOSのインストール Raspberry Pi OS
 - ・開発環境の構築
 - ・SSH (CUI環境)
 - ・VNC (GUI環境)
- ③Webサーバ実装とWebシステム開発
- ④プログラミングによるGPIO制御
 - ・LEDの制御
 - ・センサからのデータ受信
- ⑤組み込みシステム総合実習
 - ・計測データの可視化

対象者

組み込みシステム関連業務に従事する技能・技術者等又はその候補者、興味のある方 (Pythonについての基礎知識があることが望ましい)

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Raspberry Pi、webカメラ

コース番号	日程
1D041	10/7(水)、8(木)、9(金)

※本コースを受講される方は事前に「マイコン制御システム開発技術〈Raspberry Pi™編〉」を受講されることをおすすめします。



オープンソースによる画像処理・ 認識プログラム開発

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

日程表	年間
	月別
体系図	体系
	図
機械系	機械
	系
生産管理系	生産
	管理
電気・電子系	電気
	電子

◆OpenCV+Pythonによる画像処理について学ぶことができるコースです。

訓練内容

本セミナーではGoogle アカウントがあれば、簡単にPython の実行環境を構築でき、画像処理や機械学習分野の学習に利用されるGoogle Colaboratoryを利用していきます。

1日目はオンラインでGoogle Colaboratoryを用いた静止画像に対する画像処理を行っていきます。

2日目は実際にwebカメラで撮影しているデータに対しての画像処理を行っていきます。

- ①OpenCVとは
- ②開発環境
- ③画像ファイルの扱い
- ④USBカメラによるデータの取得
- ⑤画像処理プログラムの開発
- ⑥顔検出

対象者

画像処理・認識技術関連業務に従事する技能・技術者等又はその候補者、興味のある方（Pythonについての基礎知識があることが望ましい）

持参品

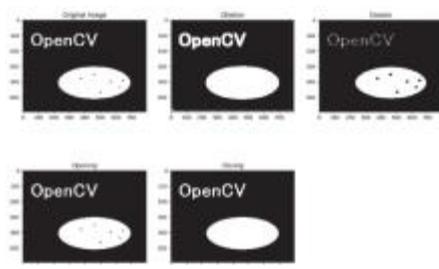
筆記用具

使用機器

パソコン、Google Colaboratory、Raspberry Pi、webカメラ

コース番号	日程
1D051	10/15(木)、16(金)

※本コースを受講される方は事前に「マイコン制御システム開発技術(Raspberry Pi™編)」を受講されることをおすすめします。



協働ロボット導入を検討・予定されている方
 協働ロボットに興味がある方
 実際の協働ロボットに触ってみたい方
 手動工程から半自動工程のシフトチェンジをお考えの方

おすすめの能力開発セミナーがございます！
詳細は P.47 をご覧ください



●生産システム保全

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

空気圧機器の保全

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆実習を中心に空気圧の原理、機器の内部構造を習得します。

訓練内容

空気圧制御機器の概要、使用方法を学び、空気圧実習ユニットを用いて、組立て調整法、診断、予防保全に関連する技術・技能を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②空気圧機器の保守管理の概要
 - ・空気圧機器の構造と構成 ・空気圧機器の保守管理
- ③オールエアーシステムの回路製作
 - ・空気圧機器の選定
 - ・オールエアーシステムの回路設計 ・オールエアーシステムの回路製作
- ④機器の故障診断実習
 - ・機器を分解することによる故障診断 ・回路の動作確認による故障診断
- ⑤まとめ
 - ・運用管理と安全管理

対象者

生産現場の空気圧機器取扱いに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

空気圧実習ボード

コース番号	日程
1D141	11/24(火)、25(水)、26(木)

受講者の声

- 何となく分かるを理論的に理解する事ができました。空気圧機器の中を分解し、構造を理解できました。
- 異常の早期発見及び対応に活用できます。
- 機器に対する知識を深め、保全技術の向上に寄与しました。



●生産システム保全

電気系保全実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆有接点回路の故障個所の発見・修復及びPLCプログラミングを習得します。

訓練内容

自動生産設備の診断や予防保全を目指して、FAラインを想定した総合実習により制御機器の保全技術、故障個所の特定からその対処方法及び自動生産ラインの運用・安全管理技術を学びます。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②制御機器に生じる不良の要因
 - ・PLC機器の構造と構成 ・欠陥の種類
- ③プログラミング演習
 - ・GPPの取扱い方法 ・PLCの命令体系について
 - ・プログラミング手法について
- ④トラブルとその対策
 - ・有接点シーケンス回路の点検方法 ・有接点シーケンス回路の修復作業
 - ・PLCプログラムの追加・修正方法
- ⑤まとめ
 - ・運用管理と安全管理

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

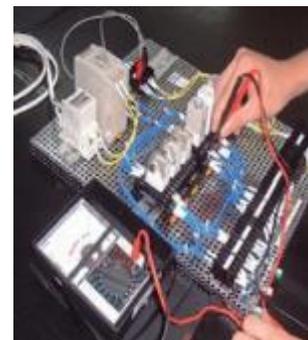
使用機器

リレー盤・PLC

コース番号	日程
1D151	12/8(火)、9(水)、10(木)

受講者の声

- 不具合の対応の仕方、保全の事を学べました。
- シーケンスのトラブルの修理、電装系の修理の手法を学ぶ事が出来ました。
- 設備の電気回路でのトラブル対応の時間短縮につながります。



高圧電気設備の保守点検技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	10,000円

◆高圧受電設備の構成や図面の見方、保守・点検について習得できます。

訓練内容

電気設備保全／電力変換設備保全の現場力強化を目指して、高圧受電設備を使用した保守点検方法及び絶縁診断等の実習を通して、高圧電気設備の工事・維持及び運用実務を効率よく安全に行える技能・技術を習得します。

- ①自家用電気工作物の概要
 - ・電気安全について
 - ・自家用電気工作物の概要
 - ・高圧受電設備の概要
- ②高圧電気設備の点検実習(停電)
 - ・模擬キュービクルでの操作、点検実習
 - ・模擬キュービクルでの測定、試験実習
- ③保守点検
 - ・電気災害について
 - ・高圧電気事故事例
 - ・機械監視による保守点検
- ④高圧電気設備の点検実習(充電)
 - ・高圧絶縁耐力の実演

対象者

電気設備の保全業務や施設管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

模擬キュービクル、検電器、マルチリレーテスタ、放射温度計

受講者の声

- 参考書を読むだけでは分からなかった事がクリアになりました。
- これまで理解出来ていなかったことを詳しく知ることができました。
- 座学と実習を行うことで日頃学ぶことのできない知識を身に付けることができました。



●電気設備保全／電気機器設備保全

現場のための電気保全技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	10,500円

◆これから電気関連の業務に従事する方に電気に関する安全知識と測定器の取り扱いを学ぶコースです。

訓練内容

電気設備保全／電気機器設備保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場に即した総合実習を通して、電気保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び、劣化防止、測定試験、作業の安全対策に関する技術を習得します。

- ①電気災害概要と対応策
 - ・感電の人体反応と対応策
 - ・短絡、漏電の対応策、接地の必要性と起因するトラブル
 - ・現場作業中の災害事例、安全対策
- ②生産設備のトラブルとその対策
 - ・リレーや回路の故障原因と対策
 - ・回路を構成する機器の故障発見技術
 - ・測定器を使用した回路確認
 - ・電動機の構造・特性と保護
- ③電気保全実習
 - ・機器選定実習
 - ・現場における測定検査実習
 - ・屋内配線の不良箇所の発見実習と対応策検討
 - ・制御盤の不良箇所の発見実習と対応策検討
 - ・電気機器の不良箇所の発見実習と対応策検討

対象者

設備の保全業務に従事する技能・技術者等、またはシーケンス技術を習得したい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器、サーマルリレー、電磁リレー、各種スイッチ、表示灯、回路計、絶縁抵抗計、クランプ式電流計

受講者の声

- 電気設備の保全業務において必要な知識を学ぶことができました。
- 現職でしていなかった点検方法(シーケンス)が分かりました。
- これまで得た知識がつながるようになったと思います。



●生産自動化設計／画像処理／信号処理設計／生産計画／生産管理

見て触って学ぶロボット・AI・生産技術 <集中育成コース>

定員:10名 受講料:44,000円(4コース合計)

【コース内訳】

コース名	コース番号	日程	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
ロボットシステム設計技術<プログラミング・カメラ編>	1D171	10/27(火)、28(水)	2日	12時間	9:00~16:00	11,000円
ディープラーニングによる物体検出技術	1D181	10/29(木)、30(金)	2日	12時間	9:00~16:00	11,000円
実習で学ぶ画像処理・照明技術 New!	1D191	11/10(火)、11(水)	2日	12時間	9:00~16:00	11,000円
問題解決手法を活用した製造現場の業務分析と現場改善<ロボット・AI活用編>	1D211	11/12(木)、13(金)	2日	12時間	9:00~16:00	11,000円

【お申し込み時の留意事項】

- ・このコースは、4コース全ての受講が必須となっております。1コースだけの受講はできませんので、ご了承ください。
- ・請求書及び修了された際にお渡りする修了証書もコースごとに発行いたします。
- ・人材開発支援助成金等の申請をされる際は、4コースごとに申請が必要です。

◆人手不足に対応したい、検査工程にAIを導入したい、自動化をしたいと考えている方に最適です

訓練内容

人が行っている作業の一部を協働ロボットに置き換えるプログラミング技術、AIの仕組みはどんなもの？何が出来るの？といった、これからロボットやAIの導入を検討している方が、各基本項目を習得できる短期集中コースとなっております。講習では自動化技術から検査工程での品質管理および生産技術まで学びます。

ロボットシステム設計技術
<プログラミング・カメラ編>

- ◆座標系について
- ◆プログラミング実習
- ◆マルチタスクによる周辺装置制御
- ◆カメラを使用したロボット応用実習

ディープラーニングによる物体検出技術

- ◆AI(人工知能)について
- ◆最適化アルゴリズム
- ◆Kerasを利用したニューラルネットワークの構築法
- ◆独自データを利用した物体検出(転移学習)
- ◆AI・ロボット連携について

実習で学ぶ画像処理・照明技術

- ◆画像処理・照明システムの知識
- ◆画像処理開発 環境の構築
- ◆光と照明
- ◆画像の前処理
- ◆外観欠陥の検出



問題解決手法を活用した製造現場の業務分析と現場改善<ロボット・AI活用編>

- ◆導入による効果 (Q品質、Cコスト、D納期、E環境、S安全)
- ◆省力化とは
- ◆ラインバランスとタクトタイム
- ◆合理的なレイアウト
- ◆費用対効果の検討

対象者

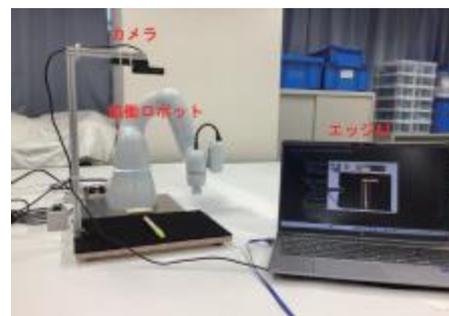
生産現場の生産技術に従事する技能・技術者であって、指導的、中核的な役割を担う者またはその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

協働ロボット(デンソーウェーブ)、カメラ、エッジAI、搬送装置



● 建築設計 / 建築製図

実践建築設計 2次元CAD技術
 〈Jw_cad™編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	下記をご参照ください			11,500円

◆ Jw_cadを使用して建築図面の作成方法を習得するコースです。

コース番号	日程	日数	時間	時間帯
1H011	5/12(火)、13(水)、14(木)、15(金)	4日	12時間	18:00~21:00
1H012	12/5(土)、6(日)	2日	12時間	9:00~16:00

訓練内容

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

- ① 建築一般図と詳細図
 - (1) 建築一般図について(各種図面概要、縮尺等)
 - (2) 建築図面作成におけるCADシステムの役割
 - (3) 実践的な建築図面作成の要点
 - (4) 設定(用紙・尺度設定、レイヤ設定等)
 - (5) 図面作成
 - (6) 図面修正・データ整理
- ② 種々の図面の構成手法
 図面間でのデータ活用等

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

Jw_cad for Win

受講者の声

- 使用したことのないコマンドや、機能を学ぶことができました。我流のところの整理もすることができました。
- 図面をスムーズに書くことができました。
- 業務で使っていなかったコマンドを知ることができました。



● 建築設計 / 建築製図

実践建築設計 2次元CAD技術
 〈電気・空調・給排水設備編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	下記をご参照ください			11,500円

◆ Jw_cadを使用して建築設備図面の作成方法を習得するコースです。

コース番号	日程	日数	時間	時間帯
1H121	8/26(水)、27(木)、28(金)	3日	18時間	9:00~16:00
1H122	令和9年2/20(土)、21(日)、23(火・祝)	3日	18時間	9:30~16:30

訓練内容

設備図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた汎用CADシステム(Jw_cad)を用いた図面作成の実習を通して、設備図面に関する作成技術を習得します。

- ① 建築一般図と詳細図
 - (1) 設備一般図について(各種図面概要、縮尺等)
 - (2) 設備図面作成におけるCADシステムの役割
 - (3) 実践的な設備図面作成の要点 (4) 設定(用紙・尺度設定、レイヤ設定等)
 - (5) 図面作成(電気・空調・給排水図) (6) 図面修正・データ整理
- ② 種々の図面の構成手法
 図面間でのデータ活用等
- ③ まとめ(その他機能について)
 線記号変形

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

Jw_cad for Win

受講者の声

- 新たな知識及び技能・技術が習得できました。
- CADの知識が向上しました。
- 独学で修得していた技術を効率良く使えるようになりました。
- CADの技術を覚えたことによって業務に活かすことができます。
- 具体的な作図が学べてよかったです。



● 建築設計 / 建築製図

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#) 検索

実践建築設計 3次元CAD技術 〈プレゼンテーション編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,500円

◆ 3次元CADを活用して、エスキス実習・モデリングの作成による意匠設計に関する技術を学ぶコースです。

訓練内容

建築設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して、3次元CADを用いた意匠設計に関する技術を習得します。

- ① ARCHITREND ZEROの操作方法
 - (1) モデリングの知識 (2) 画面操作等
- ② 演習プランの確認
 - (1) 設定と画面操作 (2) 設計条件と敷地の配置
 - (3) 部屋のレイアウトと編集 (4) 壁・梁の編集
 - (5) 建具・家具の配置
- ③ プランの立体化(3次元化)
- ④ 各種図面の作製とパース作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成・修正
 - (2) パースの作成
- ⑤ プレゼンテーション資料の作成

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ARCHI TREND ZERO

コース番号	日程
1H051	10/15(木)、16(金)



▼ お知らせ ▼

セミナー実施会場はポリテクセンター熊本ですが、担当講師は双方向通信方式により講習を行います。



福井コンピュータアーキテクト株式会社

● 建築設計 / 建築製図

在来木造住宅設計実践技術 〈構造・省エネ編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,500円

◆ 3次元CADを活用してモデル図面を作成し、壁量計算や省エネの外皮計算等に関する技術を学ぶコースです。

訓練内容

建築設計品質の向上及び業務の効率化を目指して、3次元CADを用いた確認申請書類(図面、壁量計算、省エネルギー計算)に関する技術を習得します。

- ① ARCHITREND ZEROの操作方法
 - (1) モデリングの知識 (2) 画面操作等
- ② 演習プランの確認
 - (1) 設定と画面操作 (2) 設計条件と敷地の配置
 - (3) 部屋のレイアウトと編集 (4) 壁・梁の編集
 - (5) 建具・家具の配置
- ③ 法規制の検討
 - (1) 構造計画(各種伏図の検討含む) (2) 省エネに関する演習
- ④ 基本設計図書作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成
- ⑤ まとめ
 - (1) 作成した設計図書の確認・評価

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ARCHI TREND ZERO

コース番号	日程
1H061	12/10(木)、11(金)



▼ お知らせ ▼

セミナー実施会場はポリテクセンター熊本ですが、担当講師は双方向通信方式により講習を行います。



福井コンピュータアーキテクト株式会社

● 建築設計 / 建築製図 (パース含む)

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

年間
日程表
月別

体系
図

機
械
系

生産
管理
系

電気・電子
系

居
住
系

BIMを用いた建築設計技術 〈GLOBE™編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆ BIMの操作方法やBIMモデルの活用方法などの最先端の建築設計技術を、短期間で効率的に学びたい方におすすめのコースです。

訓練内容

BIMの概要と操作方法を理解し、建築図面作成業務の効率化をめざして、BIMソフト(GLOBE Architect)によるモデリングの作成方法を習得します。

- ① GLOBEに関する知識
 - (1) モデリングの知識
 - (2) 画面操作等
- ② GLOBEのモデリング条件
 - (1) 設計方針
 - (2) ボリュームチェック
 - (3) 配置・平面・断面の確認
- ③ モデリング
 - (1) 敷地の入力
 - (2) 柱・壁・梁・床・天井 テクスチャーの決定
 - (3) 柱・壁・梁・床・天井 入力
- ④ 図面作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成
 - (2) パースの作成
- ⑤ まとめ

対象者

建築設計に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

GLOBE Architect

コース番号	日程
1H021	6/18(木)、19(金)

※習得度向上のため、「BIMを用いた建築設計技術(Archicad™編)」を続けて受講して頂くことより効果的です。



画像提供：
福井コンピュータアーキテクト株式会社

● 建築設計 / 建築製図 (パース含む)

BIMを用いた建築設計技術 〈Archicad™編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
15名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆ BIMの操作方法やBIMモデルの活用方法などの最先端の建築設計技術を、短期間で効率的に学びたい方におすすめのコースです。

訓練内容

建築設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設計実習を通して、BIMを用いた建築設計に関する技術を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練の目的
 - ・ 専門的能力の確認
 - ・ 安全上の留意事項
- ② BIMの活用方法
 - ・ BIMの現状
 - ・ BIMの仕組み
 - ・ 運用における注意点(運用ルールと手順・方法の重要性について、データ共有方法)
 - ・ 事例紹介(設計事務所の活用事例)
- ③ 建築設計実習
 - ・ 地形、敷地、道路等の条件設定
 - ・ 対象建築物の条件設定
 - ・ モデルの作成
 - ・ パースの作成
 - ・ 各種図面のレイアウトと出力
- ④ 作成データの活用
 - ・ 集計表の作成
 - ・ パースのレンダリング
- ⑤ まとめ
 - ・ 全体的な講評及び確認・評価

対象者

建築設計に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

使用機器

Archicad

コース番号	日程
1H071	7/18(土)、19(日)

※習得度向上のため、「BIMを用いた建築設計技術(GLOBE™編)」を続けて受講して頂くことより効果的です。



給排水衛生設備設計実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	8,500円

◆ **給水及び排水等設備設計の実践的な技術を習得するコースです。**

訓練内容

給排水衛生設備工事の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設備設計実習を通して、設計業務に必要な知識と問題解決の手法を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②給水設備
 - (1) 給水方式 (2) 給水設備の用語 (3) 給水管径の選定
- ③給湯設備
 - (1) 給湯方式 (2) 給湯温度 (3) 系統図
- ④衛生器具選定
 - (1) トイレの設備
- ⑤排水・通気設備
 - (1) 排水方式 (2) 排水トラップ (3) 通気の種類 (4) 敷地外の配管
 - (5) 排水・通気管径の選定
- ⑥まとめ

対象者

給排水衛生工事の知識及び設計技術を必要とする技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日程
1H131	5/11(月)、18(月)

受講者の声

- 実務に即した具体的な内容で、配管口径の選定がとても分かりやすかったです。
- 今後現場での打ち合わせや給排水の機器を営業する際の知識を身につけることができました。
- 図面を見る力が向上しました。



持参品

筆記用具、電卓

▼▼ 以下のテキストを使用しますので、各自ご準備下さい ▼▼
(コース番号：1H131・1H141・1H151使用テキスト)

「イラストでわかる建築設備」山田信亮+菊池至+打矢滙二+中村守保：著
出版社 ナツメ社 ISBNコード 978-4-8163-5348-2 価格(税込) 2,860円

● 建築設備設計・計画

換気・排煙設備設計実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	8,500円

◆ **換気及び排煙の設備設計の実践的な技術を習得するコースです。**

訓練内容

換気・排煙設備工事の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設備設計実習を通して、設計業務に必要な知識と問題解決の手法を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②換気設備
 - (1) 換気の必要性 (2) 自然換気と機械換気
- ③機械換気
 - (1) 機械換気の方式 (2) 機械換気設備の計画
- ④換気量の算定
 - (1) 換気量に関する法規制 (2) 一般換気
- ⑤排煙設備
 - (1) 排煙の目的 (2) 排煙の方式 (3) 排煙の設置基準 (4) 自然排煙と機械排煙
- ⑥排煙風量の算定
 - (1) 排煙風量 (2) 排煙ダクトの計画
- ⑦まとめ

対象者

換気・排煙設備の知識及び設計技術を必要とする技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日程
1H141	6/1(月)、8(月)

※令和5年7月開講コース「パッシブ換気を用いた設計の実務(換気・排煙設備編)」と同等の内容になります。

受講者の声

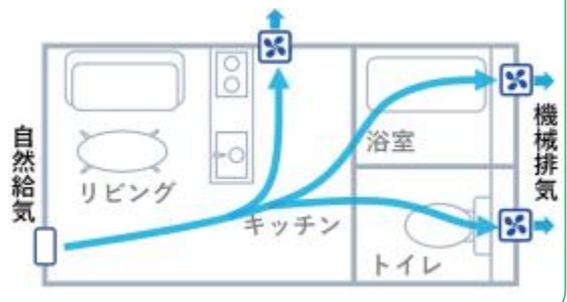
- 換気・排煙について理解することが出来ました。
- 換気・排煙の設計の進め方が分かり、日ごろの業務に活かしていきたい。
- 実践に即した具体的な内容で、ダクトの選定がとても分かりやすかったです。

持参品

筆記用具、電卓

▼▼ 以下のテキストを使用しますので、各自ご準備下さい ▼▼
(コース番号：1H131・1H141・1H151使用テキスト)

「イラストでわかる建築設備」山田信亮+菊池至+打矢滙二+中村守保：著
出版社 ナツメ社 ISBNコード 978-4-8163-5348-2 価格(税込) 2,860円



室内温熱環境設計技術 〈空気調和設備編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	8,500円

年間
 日程表
 月別

◆ 空気調和設備設計の実践的な技術を習得するコースです。

訓練内容

空気調和設備工事の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設備設計実習を通して、設計業務に必要な知識と問題解決の手法を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②室内空間への要求
 - (1) 居住者の要求 (2) 設計者の要求
- ③室内気候と熱負荷計算
 - (1) 室内温熱環境の目標値 (2) 湿り空気線図の理解 (3) 熱負荷計算方法(実習)
- ④設備システム
 - (1) 冷暖房の原理 (2) 空調システム (3) 暖房システム
- ⑤室内環境計画の実習(省エネ手法)
 - (1) パッシブ手法 (2) アクティブ手法
- ⑥まとめ

対象者

空気調和設備の知識及び設計技術を必要とする技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、電卓

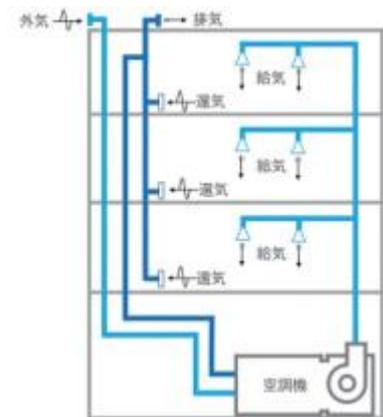
▼▼ 以下のテキストを使用しますので、各自ご準備下さい ▼▼
 (コース番号：1H131・1H141・1H151使用テキスト)

「イラストでわかる建築設備」山田信亮+菊池至+打矢澄二+中村守保：著
 出版社 ナツメ社 ISBNコード 978-4-8163-5348-2 価格(税込) 2,860円

コース番号	日程
1H151	7/6(月)、13(月)

受講者の声

- 通常業務で行わないため、新しい知識が身についた。
- 仕事に役立てることができました。



体系
 図

機
 械
 系

生
 産
 管
 理
 系

電
 気
 ・
 電
 子
 系

居
 住
 系

● 建築構造設計

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#) 検索

鉄骨構造物における構造計算技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ 鉄骨構造についての構造計算技術を習得するコースです。

訓練内容

鉄骨構造物の構造設計の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた構造計算実習を通して、構造設計の手順と構造計画技術を習得します。

- ① 構造計算概要
 - (1) 構造設計の位置づけと手順
 - (2) 鉄骨構造の主な構造形式と構造計画
 - (3) 構造形式と設計ルートとの選定
 - (4) 構造設計のポイント
 - (5) 構造計算書の概要
- ② 荷重と外力の算定
 - (1) 鉛直荷重と水平荷重の種類と算定
 - (2) 応力算定のための準備計算
- ③ 存在応力の算定
 - (1) 鉛直荷重時応力の算定
 - (2) 水平荷重時応力の算定
- ④ 断面設計・算定演習
 - (1) 柱 (2) 梁 (3) その他

対象者

建築業の中小企業において鉄骨構造物の設計・施工・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

電卓

コース番号	日程
1H031	9/8(火)、9(水)

受講者の声

- 構造の考え方を理解できました。
- 今後の作図に構造計算の技術を活かすことができました。
- 計算の手順を追って説明してもらえたので理解しやすかったです。



● 建築構造設計

R C 構造物における構造計算技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ R C 構造物についての構造計算技術を習得するコースです。

訓練内容

R C 構造物の構造設計の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた構造計算実習を通して、構造設計の手順と構造計画技術を習得します。

- ① コース概要及び留意事項
 - ・ 訓練コースの概要説明
 - ・ 専門的能力の確認
 - ・ 安全上の留意事項
- ② 構造計算概要
 - (1) 鉄筋コンクリート構造の主な構造形式と構造計画
 - (2) 構造形式と設計ルートとの選定
 - (3) 構造設計のポイント
 - (4) 構造計算書の概要
- ③ 荷重と外力の算定
 - (1) 鉛直荷重と水平荷重の種類と算定
 - (2) 応力算定のための準備計算
- ④ 存在応力の算定
 - (1) 鉛直荷重時応力の算定
 - (2) 水平荷重時応力の算定
- ⑤ 断面設計・算定演習
 - (1) 柱 (2) 梁 (3) 壁・耐震壁 (4) 二次部材 スラブ・小梁
 - (5) 剛性評価 スラブ・壁 (6) 付着・接合・定着
- ⑥ 2次設計演習
 - (1) 層間変形角 (2) 剛性率・偏心率
- ⑦ 保有水平耐力の検討・演習
 - (1) 保有水平耐力の検討法 (2) 保有水平耐力の検討
- ⑧ 構造図について
 - (1) 構造図のチェックポイント
- ⑨ 構造計算書
 - (1) 構造計算書のチェックポイントとチェック演習
- ⑩ まとめ

対象者

R C 構造物の設計・施工・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

関数電卓

コース番号	日程
1H041	10/20(火)、21(水)

受講者の声

- これまで疑問に思っていたことが解決できました。
- 普段あまり行わない手計算による構造計算を学ぶことができた。
- 専門外でしたが、興味深かったです。



●給排水衛生設備工事

トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術〈建築配管作業編〉

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:30 ~ 16:30	13,000円

年間
日程表
月別

◆建築配管作業の技能の習熟を図りたい方へおすすめのコースです。

訓練内容

建築配管作業の課題である各種管の接続作業の高度化を目指して、実践的な各種管の加工・異種管の接合技術と、計画立案等作業技術を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②設備配管の概要
 - (1) 給水設備 (2) 給湯設備 (3) 排水・通気設備
 - (4) 蒸気配管 (5) 温水暖房配管など
- ③各種管の加工・異種管の接合法
 - (1) 炭素鋼管の加工(手動ねじ切り)及び接合法
 - (2) ポリ塩化ビニル管の加工及び接合法
 - (3) 銅管の加工及び接合法
- ④計画立案等作業
 - (1) 図面の読み方 (2) 材料取り
- ⑤加工・接合課題実習
 - (1) 加工・接合課題実習 (2) 水圧テスト
- ⑥まとめ

対象者

建築配管作業の技能の習熟を図りたい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、手袋、安全靴、電卓

使用機器

配管工具一式

コース番号	日程
1H171	11/14(土)、21(土)、28(土)

受講者の声

- 結果的に建築配管作業に対応できました。
- 建築配管作業で活用できます。
- 仕事で同じ業務をしていて、どのような手順で材料を使っているのかわからなかったが、このセミナーで知識を深めることができました。
- イメージをよりわかりやすく整理できました。



体系
図

機
械
系

生
産
管
理
系

電
気
・
電
子
系

●給排水衛生設備工事

給水装置工事における衛生的環境に配慮した工事施工法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:30 ~ 16:30	9,000円

◆給水装置工事に従事されている方へおすすめのコースです！

訓練内容

給排水衛生設備工事の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けて給水工事実習(演習)を通して、建築設備工事における指導的、監督的な立場に必要な専門的知識や技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②給水装置工事
 - (1) 給水装置工事法 (2) 給水装置の構造及び性能 (3) 給水装置の概要
- ③公衆衛生と飲料水水質基準
 - (1) 公衆衛生概論 (2) 水道行政
- ④給水計画
 - (1) 給水方式 (2) 給水管の口径決定
 - (3) 余裕水頭の計算 (4) 損失水頭と流量の計算
- ⑤給水装置工事施工方法及び施工基準
 - (1) 給水装置工事の施工管理・工程管理・品質管理・安全管理
 - (2) 公道上の施工・建設工事公衆災害防止対策
- ⑥まとめ

対象者

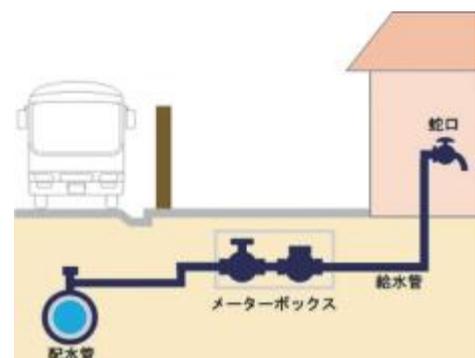
給水装置工事に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、電卓

受講者の声

- 給水装置の深部が分かりました。
- 知らないことや、理解できなかったことが分かり、今後の業務に活用できます。
- 使用するテキストに要点が書いてあり、給水装置工事主任者の勉強がしやすいです。



居
住
系

● 防災設備工事

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

自動火災報知設備工事の施工・保守技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:30~16:30	10,000円

◆ 自動火災報知設備工事に従事されている方におすすめのコースです！

訓練内容

消防設備工事の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた自動火災報知設備の施工実習を通して、故障対応・予防に向けた自動火災報知設備工事の実践的な施工・保守技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - (1) 訓練の目的 (2) 専門的能力の確認 (3) 問題点の整理
- ②自火報設備の計画
 - (1) 自火報設備の基本構成と設備機器 (2) 警戒区域の設定
 - (3) 各機器の選定と設置計画 (4) 自火報設備線形図書の読解
- ③自火報設備の施工
 - (1) 受信機設置工事 (2) 感知器設置工事
 - (3) 発信機・地区音響装置設置工事 (4) 配線工事
- ④設備の試験
 - (1) 外観・性能試験と検査報告書作成
 - (2) 設備保守とトラブルシューティング
- ⑤まとめ
 - (1) 成果発表と統括討議 (2) 講評・評価

対象者

自動火災報知設備工事に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

電工用具類一式、自動火災報知設備等

コース番号	日程
1H161	9/5(土)、6(日)

受講者の声

- 受信機・発信機の配線と操作が理解できました。
- 機器のしくみや配線等実践できたので勉強になりました。
- 消防設備については他の講習より、実際の機器に触れたり、苦手だった製図も理解でき、とても有意義でした。



● 空気調和設備工事

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術<ルームエアコン編>

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:30 ~ 16:30	8,500円

◆ 実践的な技術を身につけ、施工品質を高めたい方におすすめのコースです。

訓練内容

空気調和換気設備工事の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた空調機器据付け実習を通して、欠陥や問題点を未然に予測し防止するための施工技術を習得します。

- ①設備配管工事の施工条件
 - (1) 工事仕様の確認、検討 (2) 配管材料の選択及び規格の確認
 - (3) 施工基準及び施工方法の決定
- ②空調機器据付け実習
 - (1) 支持・据付け (2) 冷媒配管の加工及び接合
 - (3) ドレン配管の加工接続 (4) 欠陥発生の有無の確認
- ③漏洩検査
 - (1) 真空乾燥・真空漏洩検査 (2) 冷媒配管の加圧テスト
 - (3) 冷媒の追加充填 (4) 各断熱工事
- ④試運転
 - (1) 試運転 (2) 能力測定
 - (3) 評価、確認



対象者

空気調和換気設備工事の施工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

空気調和機器、配管工具一式、ゲージマニホールド、真空ポンプ、冷媒充填用はかり

高度ポリテクセンター主催

現場を動かす力を、ロボットと共に。

コース番号：X094A

ロボットシステム設計技術（ロボットシステム導入編）

人との協働作業を行うロボットを題材に、手作業工程を半自動化にする実習を通して、ロボット導入に必要な一連の工程及び技術を習得します。実習ではグループ作業でロボット実機を使用します。半自動化ライン構築後には各種検証などの実務に必要な技術を習得します。

日 程： 9月16日(水)・17日(木)
9:00～16:00

受講料： 27,000円(税込・テキスト、教材費含)

定 員： 10名(先着)

実施会場： ポリテクセンター熊本

担当講師： 永井 伸幸氏
(ヒューマテックジャパン株式会社 代表取締役社長)

【訓練内容】

- ① コースの概要及び留意事項
- ② 産業ロボットシステム構築
- ③ 組み立て作業の工程分析実習
- ④ ロボット導入プロセス標準
- ⑤ ロボット安全について
- ⑥ ロボット操作実習
- ⑦ ロボットによる半自動化実習
- ⑧ まとめ



受講者の声

ロボットの導入に
必要な内容
が具体的にわかった。

ロボットアームを
実際に触れて
動作感覚を知る事ができた。

工程分析の進め方
に対する再確認ができた。

業務に直結する内容
だったので
今後活かせる。

「ロボットの操作方法」
「導入までの準備」という点で
今後生かせそうです。

こちらのコースは
高度ポリテクセンター
での申し込みとなります

セミナーのお申し込み、お問い合わせはこちら▼

高度ポリテクセンター 事業課
〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-2
TEL:(043)296-2582
FAX:(043)296-2585
メールアドレス:kodo-poly02@jeed.go.jp



高度ポリテクセンター
在職者訓練HP

よくあるご質問 Q & A

◆◆受講申し込みの前に、必ずご一読くださいますようお願いいたします◆◆



Q 受講申し込みはどのようにしたらいいですか？

A 「能力開発セミナー受講申込書」(P.59)に必要な事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。(郵送または持参でも受付できます。)

Q 申し込む場合の条件はありますか？

A 各コースに関する基本的な知識を有する方を対象としております。ただしコースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。能力開発セミナーガイド・ホームページでご確認ください。

Q 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に発行している訓練の修了証書に記載するためです。

Q コースの詳しい概要について聞けませんか？

A 当センターのホームページをご覧ください。更に詳しい内容についてご質問がございましたら、お問合せ先(P.58)までご連絡ください。

Q 希望するコースが定員に達している場合はどうしたらいいですか？

A 「キャンセル待ち」としての受付が可能です。キャンセルにより定員に空きが生じた時点で、順次ご案内いたします。

Q 申し込んだコースが中止になることはありますか？

A 開講日の約3週間前の時点で、受講申し込みが一定の人数に達していない場合は、中止または日程変更させていただく場合があります。また、講師の都合等やむを得ない事情により、開催直前に中止または日程変更することもございますので予めご了承ください。

Q 受講料の支払いはどのようにしたらいいですか？

A 当該コースの開講日の約2週間前までに、請求書及び振込依頼書をお送りします。コース開始日の1週間前までにお振込みください。銀行振込手数料は、お客様のご負担になります。また、お振込みいただいた後「受講票」を郵送しますので、セミナー当日に必ずご持参ください。

Q 受講料をインターネットバンキングで支払ってもいいですか？

A 受講料のお振込みについては、銀行及びATM振込他、インターネットバンキングもご利用いただけます。

Q 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A お申し込みいただいた事業所内での受講者の変更は可能です。当該コース開講日の1週間前(土日祝日に当たる場合は、その前の平日)までに、「受講者変更届・取消(キャンセル)届」をメールまたはFAXにてご連絡ください。

Q 申し込んだコースを欠席する場合はどうしたらいいですか？

A お電話でご連絡ください。

Q 申し込んだコースをキャンセルしたいのですが、どうしたらいいですか？

A 受講申し込みをしているコースを取消(キャンセル)する場合は、当該コース開講日の1週間前(土日祝日に当たる場合は、その前の平日)までに、先ず電話にてご一報いただき、その後、「受講者変更届・取消(キャンセル)届」をメールまたはFAXにて送付ください。
この日を過ぎたお取消しや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

Q 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればいいですか？

A 服装について特に決まりはございません。
ただし、旋盤、フライス盤、溶接関係のセミナーなど、「持参品」欄や「備考」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認の上、ご持参ください。また、その他の持ち物に関しましては、「持参品」欄をご確認の上、当日までにご準備ください。

Q セミナー会場への案内はありますか？

A 当センターの本館玄関前の案内板でご確認いただけます。また、事前にお送りしている「受講票」に記載してあります。(都合により、受講票でお知らせした教室から変更になることもありますので必ず案内板をご確認ください。)

Q 駐車場はありますか？

A セミナー受講者用の無料駐車場をご用意しております。(詳しくはP.70「施設配置図」をご覧ください。)ただし、駐車場での事故等については、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

Q 昼食についてはどのようにしたらいいですか？

A 当センターには食堂はございませんので、あらかじめ昼食をご用意いただくか、近隣の飲食店等をご利用ください。

Q セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%を満たしており、受講者が修了に値すると認められる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q セミナー会場で録音および撮影してもいいですか？

A 受講中の写真・動画の撮影、録音等はお断りしておりますので、ご了承ください。



お問い合わせ先
ポリテクセンター熊本 訓練課受講者第二係
 TEL:096-242-6613 FAX:096-242-9935
 E-mail:kumamoto-poly03@jeed.go.jp

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

申込日: 令和 年 月 日

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

1. 申込区分(受講料請求先) ※どちらかにご記入ください

会社からの申込(※2)

個人での申込

(ふりがな) 法人名	(ふりがな) 事業所名
法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主
(ふりがな) 申込担当者	部署名
所在地	〒
TEL	FAX
会社規模 (従業員数) ※該当に○	業種
A.1~29 B.30~99 C.100~299 D.300~499 E.500~999 F.1000人以上	

住所	〒
TEL	

- A. 農業、林業 B. 漁業
- C. 鉱業、採石業、砂利採取業
- D. 建設業 E. 製造業
- F. 電気・ガス・熱供給・水道業
- G. 情報通信業 H. 運輸業・郵便業 I. 卸売業
- J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業
- L. 学術研究、専門・技術サービス業
- M. 宿泊業、飲食サービス業
- N. 生活関連サービス業、娯楽業
- O. 教育、学習支援業
- P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業
- S. 公務 T. 分類不能の産業

※該当するものを
1つ選んでご記入
ください。

2. 受講申込コース

No	コース番号	コース名	開講初日	受講者名	生年月日
1			月 日	ふりがな	西暦
		訓練に関連する経験・技能等(※4)	TEL(※1)	(男・女)	
			就業状況(※3) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業)	
2			月 日	ふりがな	西暦
		訓練に関連する経験・技能等(※4)	TEL(※1)	(男・女)	
			就業状況(※3) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業)	
3			月 日	ふりがな	西暦
		訓練に関連する経験・技能等(※4)	TEL(※1)	(男・女)	
			就業状況(※3) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業)	

- ※1 緊急時に受講者様へ直接ご連絡させていただく場合がございます。
- ※2 申込区分の「会社からの申込」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※4 訓練を進める上での参考とさせていただきますため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。
(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。「会社からの申込」を選択された方は、申込担当者様へてに送付いたします。

能力開発セミナー受講申込書の送付先

【メール】 kumamoto-poly03@jeed.go.jp

【FAX】 096-242-9935

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

申込日: 令和 7 年 11 月 28 日

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

1. 申込区分(受講料請求先) ※どちらかにご記入ください

会社からの申込 (※2)

個人での申込

(ふりがな) 法人名	かぶしきかいしゃ○○○○○○ (株)○○○○○○	(ふりがな) 事業所名	かぶしきかいしゃ○○○○○○ (株)○○○○○○
法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主	
(ふりがな) 申込担当者	こうし たろう 合志 太郎	部署名	総務部 総務課
所在地	〒 861-1102 熊本県合志市須屋2505-3		
TEL	096-000-0000	FAX	096-000-0000
会社規模 (従業員数) ※該当に○	A. 1~29 C. 100~299 E. 500~999	B. 30~99 D. 300~499 F. 1000人以上	業種 E

住所	〒 熊本県合志市須屋2505-3
TEL	090-0000-0000

- A. 農業、林業 B. 漁業
- C. 鉱業、採石業、砂利採取業
- D. 建設業 E. 製造業
- F. 電気・ガス・熱供給・水道業
- G. 情報通信業 H. 運輸業・郵便業 I. 卸売業
- J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業
- L. 学術研究、専門・技術サービス業
- M. 宿泊業、飲食サービス業
- N. 生活関連サービス業、娯楽業
- O. 教育、学習支援業
- P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業
- S. 公務 T. 分類不能の産業

※該当するものを
1つ選んでご記入
ください。

2. 受講申込コース

No	コース番号	コース名	開講初日	受講者名	生年月日	
1	1M261	製造現場におけるヒューマンエラー 対策と実践的技法	月 日	ふりがな すや はなこ	西暦	
			7 / 7	須屋 花子	2000・10・25	
			(男・女)	(男・女)		
訓練に関連する経験・技能等 (※4)			TEL (※1)	090-0000-0000		
●●●の作業に約5年間従事			就業状況 (※3) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
2	1M261	製造現場におけるヒューマンエラー 対策と実践的技法	月 日	ふりがな すや はなこ	西暦	
			7 / 7	須屋 花子	2000・10・25	
			(男・女)	(男・女)		
訓練に関連する経験・技能等 (※4)			TEL (※1)	090-0000-0000		
●●●の作業に約5年間従事			就業状況 (※3) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
3	1M261	製造現場におけるヒューマンエラー 対策と実践的技法	月 日	ふりがな すや はなこ	西暦	
			7 / 7	須屋 花子	2000・10・25	
			(男・女)	(男・女)		
訓練に関連する経験・技能等 (※4)			TEL (※1)	090-0000-0000		
●●●の作業に約5年間従事			就業状況 (※3) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)

※1 緊急時に受講者様へ直接ご連絡させていただく場合がございます。
 ※2 申込区分の「会社からの申込」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
 ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
 ※4 訓練を進める上での参考とさせていただきますため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。
 (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。「会社からの申込」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

能力開発セミナー受講申込書の送付先

【メール】	kumamoto-poly03@jeed.go.jp	【FAX】	096-242-9935
-------	----------------------------	-------	--------------

年間
日程表
月別

体系
図

機
械
系

生
産
管
理
系

電
気
・
電
子
系

居
住
系

Q
&
A

受
講
申
込
書



ポリテク熊本の施設設備を 活用しませんか？

ポリテクセンター熊本では、事業主等の皆様が自ら行う社員教育や研修の場を提供するために、実習場、研修室、機器等の施設・設備の貸与を行っています。

こんなときに！

- ・新入社員の研修を行いたい
- ・製品の試作を行いたい
- ・従業員の接客研修を行いたい
etc...



ご利用方法

1. まずはお電話でポリテクにご相談
2. 施設設備使用申請書の作成・提出
3. 使用料請求書のご送付
4. 使用料金のお支払い
5. ご利用



●貸出例

《実施会場》	《設備》	《機器》
<input checked="" type="checkbox"/> 会議室 <input checked="" type="checkbox"/> 教室 <input checked="" type="checkbox"/> 実習場	<input checked="" type="checkbox"/> 普通旋盤 <input checked="" type="checkbox"/> フライス盤 <input checked="" type="checkbox"/> マシニングセンタ <input checked="" type="checkbox"/> 各種溶接機	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター <input checked="" type="checkbox"/> スクリーン <input checked="" type="checkbox"/> マイク <input checked="" type="checkbox"/> ホワイトボード



●主な施設使用料金一覧 ご利用可能時間 (平日) 9:00~21:00 (土日祝) 9:00~16:00

教室・実習場	定員 (目安)	料金 (1時間)
A 201研修室	80名	400円
セミナー研修棟	30名	400円
会議室	20名	200円
共用実習場(機械)	—	600円

※上記料金は令和8年4月1日時点のものです。
料金の見直しにより、変更する可能性があります。

●留意事項

- ・令和6年度より、平日・土日祝日を問わず警備料金が必要となります。
- ・教材及び消耗品の貸し出しは行いません。
- ・冬季に実習場をご利用される場合は別途灯油代金がかかります。
- ・使用料金は原則として前払いとなります。

その他詳細はお電話にてお問い合わせください。



お問い合わせ先 訓練課受講者第二係
TEL: 096-242-6613

施設設備使用申請書

独立行政法人

令和 年 月 日

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

〒
所在地
事業所等名
代表者氏名

貴施設の施設設備を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

使用目的					人員	人
職業能力開発促進法第24条による認定の有・無 ※1					有 ・ 無	
貸与期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()					
使用内容	場所	月日(曜日)	時間	希望訓練用機器等	台数	
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		責任者連絡先	所属 氏名 電話番号			
使用場所に特別の設備をし、又は変更を加える場合、その内容						
備考					資格免許 ※2	

※1 職業能力開発促進法(以下「能開法」という)第24条による認定とは、都道府県知事により、能開法第19条第1項の厚生労働省令で定める基準に適合するものであると認定を受けた職業訓練のこと。

※2 貸与を希望する機器等の使用に当たり資格免許等が必要な場合は、申請時に施設担当者へご提示ください。施設担当者が確認のサインを記入します。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については施設設備使用の申請に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

記入例

施設設備使用申請書

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

令和〇年〇月〇日

〒861-1102

所在地 熊本県合志市須屋xxxx-xx

事業所等名 株式会社 ●●●●

代表者氏名 合志 太郎

貴施設の施設設備を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

使用目的	アーク溶接の業務に係る特別教育講習			人員	20 人
職業能力開発促進法第24条による認定の有・無 ※1				有	無
貸与期間	令和●年6月30日(日)～令和6年6月30日(日)				
使用内容	場所	月日(曜日)	時間	希望訓練用機器等	台数
	金属加工実習場	令和6年6月30日(日)	9:00～17:00	溶接機	20台
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
	責任者連絡先	所属 株式会社 ●●●● 氏名 合志 太郎 電話番号 096-xxxx-xxxx			
使用場所に特別の設備をし、又は変更を加える場合、その内容	特になし				
備考					資格免許 ※2

※1 職業能力開発促進法(以下「能開法」という)第24条による認定とは、都道府県知事により、能開法第19条第1項の厚生労働省令で定める基準に適合するものであると認定を受けた職業訓練のこと。

※2 貸与を希望する機器等の使用に当たり資格免許等が必要な場合は、申請時に施設担当者へご提示ください。施設担当者が確認のサインを記入します。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については施設設備使用の申請に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

オーダーメイドセミナーのご案内

ポリテクセンター熊本では、公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

こんなお悩みはありませんか？

- 自社の生産現場に即した研修を実施したい
- 自社では講師や機器・場所が不足して研修が行えない
- 公開中のセミナーでは、日程が合わない

このような課題を抱えている皆様のサポートをします!!



オーダーメイドセミナーのメリット

- ① 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
- ② 希望する開催日等をご相談の上、訓練コースを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
- ③ 社員教育に必要な講師、機材、研修会場等のご心配が不要です。

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① 公開中の能力開発セミナーもオーダーメイドセミナーとして計画できます。(ご案内にないコースについても、ご相談に応じています。)
- ② 会場は当センターとなりますが、実施内容により出張セミナーにも対応できます。
- ③ 受講者数は、講習内容等により異なりますが、原則5名以上となります。(協力会社、系列会社等の合同実施でも構いません。)
- ④ 訓練時間は、1コース12時間以上です。訓練日程や受講者数、時間については、ご相談ください。
- ⑤ 費用(受講料)は、教材や諸経費を含めて提示します。



ご相談からオーダーセミナー実施までの流れ



さらなるスキルアップを

目指すなら！

高度 ポリテクセンター

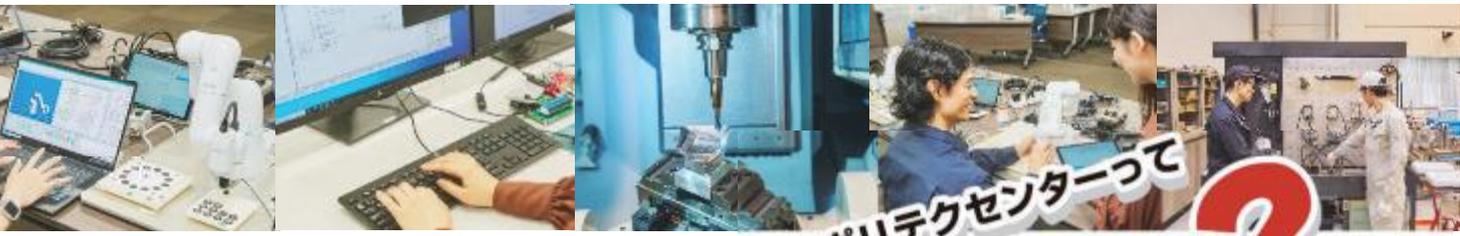


年間700コース以上の
豊富なカリキュラム
をご用意しています。

人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
- 見て触って理解する金型技術
- 生産現場の機械保全技術
- 金属材料の腐食対策
- 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析
- ロボットシステム設計技術
- 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
- マイコン制御システム開発技術
- 実習で学ぶ漏電診断技術
- OHLIによるLSI開発技術

※詳しくは、公式サイトをご覧ください。



高度ポリテクセンターって どんなところ？



紹介ページ

お問合せ先

高度ポリテクセンター

- 〒 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
- ☎ 043-296-2582
- ✉ kodo-poly02@jeed.go.jp



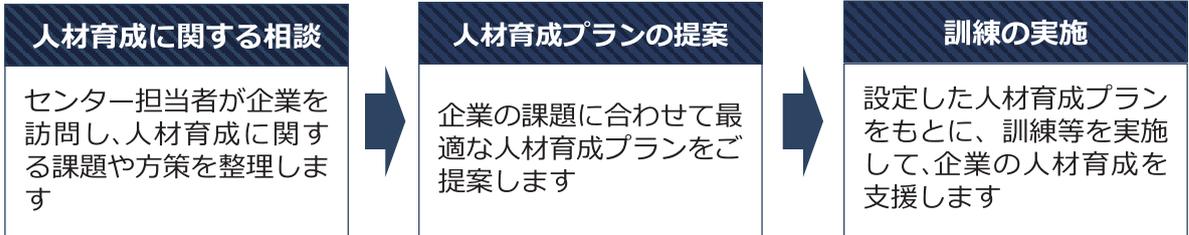
公式サイト

高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。

生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をととして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。



人材育成に関する相談
センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します

人材育成プランの提案
企業の課題に合わせて最適な人材育成プランをご提案します

訓練の実施
設定した人材育成プランをもとに、訓練等を実施して、企業の人材育成を支援します

在職者訓練（能力開発セミナー）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。DX（デジタルトランスフォーメーション）につながるデジタル技術に対応した訓練やGX（グリーントランスフォーメーション）につながる環境・エネルギー分野に関連する技術に対応した訓練も実施しています。地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定するとともに、個別企業等のオーダーに応じた訓練コースにも対応し、当機構の職業訓練指導員等が訓練を実施します。



▲ 難削材の切削加工実習



▲ 3次元CADを活用した機械設計実習



▲ ロボット操作実習



▲ 戸建て住宅のインテリアパース制作実習

- (1) 訓練実施場所
全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジの実習場 など
- (2) 訓練時間数
12時間～30時間
- (3) 受講料(1人あたり平均)
7,000円から30,000円程度
※平均13,000円程度、訓練内容や使用機材等により変動
- (4) 主な訓練分野
 - 【機械系】 機械設計/加工、溶接加工 など
 - 【電気・電子系】 電気設備保全、電子回路設計 など
 - 【居住系】 建築設計・製図、建築施工、建築設備工事 など

「ハロートレーニングー急がば学べー」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。



「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…
当機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。

information 指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、当機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行なっています。



人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。



(厚生労働省HPへ)

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

- (1) 訓練実施場所
企業の自社会議室 など
- (2) 訓練時間数
6時間～30時間
(「IT業務改善」は、4時間～30時間)
- (3) 受講料（1人あたり・税込）
3,300円～6,600円
(「IT業務改善」は、2,200円～4,400円)
- (4) 主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳までの就業機会の確保に向けて中高年齢層の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・生成AIを活用して業務のスピードを高めたい。
- ・テレワークを導入し業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・SNSを使って効果的な情報発信をしたい。
- ・テレワークのセキュリティ対策を学びたい。

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決
- ・生成AIの活用
- ・テレワークを活用した業務効率化 など

【横断的課題】

- ・組織力強化のための管理
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業実践
- ・オンライン営業技術 など

【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・SNSを活用した情報発信
- ・テレワークに対応したセキュリティ対策 など

「まずは試しに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…

広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。

また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技能者の養成を行っています。



DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等DX人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。

また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではDXに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。



採用ご担当者様

ポリテクセンター熊本の

人材情報を活用しませんか？



人手が欲しい…
誰か良い人いないか

…と思ったら

ポリテク 熊本

検索

ポリテクセンターの人材情報を活用ください！！



●ポリテク熊本のHPへアクセス

- ①「事業主の方へ」をクリック
- ②「訓練受講者および訓練修了者への求人」をクリック



- 受講訓練コースを選んで内容確認
訓練修了間近の訓練生から
修了後3ヶ月までの修了生情報を掲載

訓練科別に訓練生の情報を掲載しています。

希望する職種、地域、これまでの職務経験、所持資格、自己PRを掲載

HP情報
隔週更新

9月入所(2月修了)生 組込みマイコン技術科	9月入所(2月修了)生 組込みマイコン技術科	9月入所(2月修了)生 組込みマイコン技術科
職種	職種	職種
職種	職種	職種
職種	職種	職種

●会ってみたい訓練生・修了生に対し面接希望の連絡

連絡方法 指名求人用紙(科名・番号)と求人票をポリテクセンターへFAX

※求人票はハローワーク様式、ポリテク熊本様式、どちらでも可

～本人への意思確認後、希望すれば面接実施～

※本人に意思の確認をとりますので、必ずしも面接して頂けるとは限りません。また、ご連絡時に就職が決定している場合もございます。

※指名求人の場合は書類選考は出来ません。また、ジョブ・カードでの応募にご協力をお願い致します。

ご連絡先 訓練課受講者第一係

TEL 096-242-6614(直通)

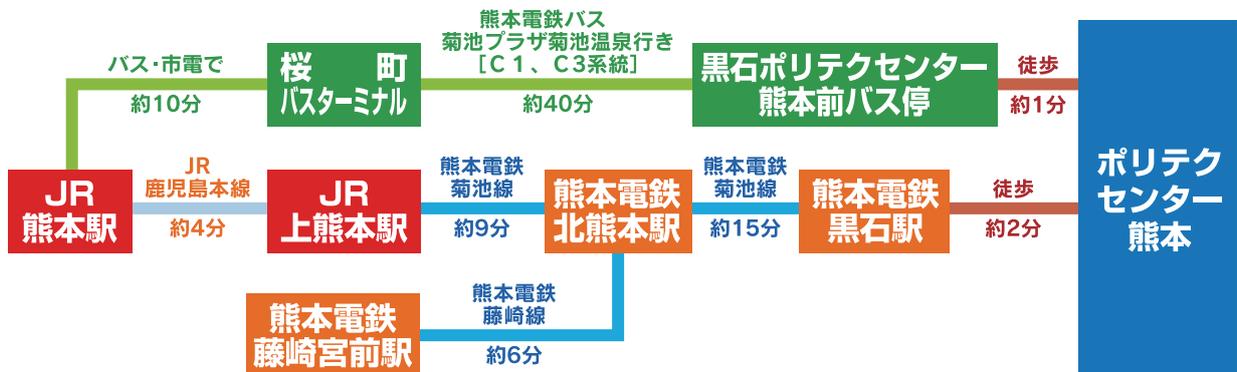
FAX 096-242-9935



▶ アクセス



▶ 電車・バスでお越しの方



▶ お問い合わせ先

「らしく、はたらく、ともに」 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター



ポリテクセンター熊本

〒861-1102 熊本県合志市須屋2505-3
訓練課 受講者第二係

TEL: 096-242-6613

FAX: 096-242-9935

E-mail: kumamoto-poly03@jeed.go.jp

【ホームページ】 <https://www3.jeed.go.jp/kumamoto/poly/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ポリテクセンター熊本は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。